

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 佐倉市

自治体名：千葉県佐倉市

担当課名：指導課

電話番号：043-484-6185

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	103.69 km ²
人口	169,399 人
公立中学校数	11 校
公立中学校生徒数	3,927 人
部活動数	132 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	R5年5月設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	今後策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

○学校における部活動は、少子化による部員不足・顧問不足・教員の超過勤務等などの問題で、これまでのような活動の維持が困難。

○地域で子どもたちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を維持するという意識改革・大きな転換期を迎えようとしている。

○令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁は「学校部活動及び新たな地域クラブの在り方に関するガイドライン」を策定。令和5年3月、千葉県では「地域全体で子供たちを育てる学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン」を策定。

○これを受けて、佐倉市においても学識経験者、PTA代表者、佐倉市体育協会、佐倉市校長会、教育委員会等を構成員とする「佐倉市部活動地域指導事業検討会」を令和5年5月から現在まで5回開催し、地域移行のあり方等の検討を進めている。

○令和5年度は、9月から臼井中学校陸上部をモデルとし、検証事業を開始。参加生徒や保護者からは「専門的な指導が受けられて活動が楽しくなった」などの好意的な評価をいただいた。

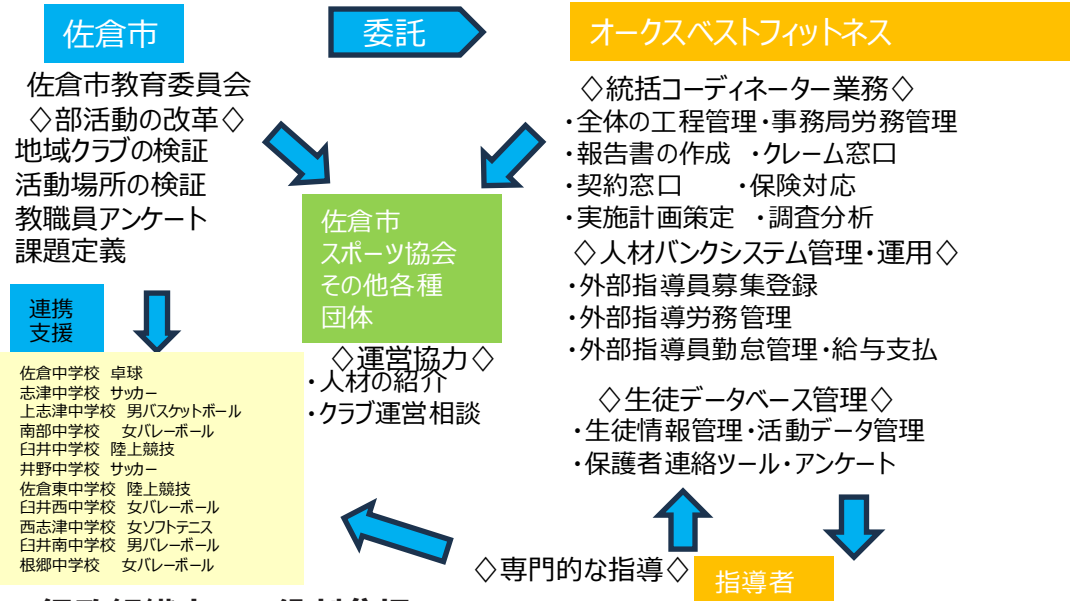
○令和6年度は、この検証事業を市内全校（11校11部活）に拡大。

- 地域移行への理解促進
地域移行そのものの理解不足から、生徒、保護者、教員には漠然とした不安が広がっている。定期的にリーフレットを発行するなど、理解促進を推進することが必要。
- 教職員の過重労働
中学校で部活動の顧問となった教員は、通常の授業に加えて部活動の指導や引率も行うことで、休日出勤も含めたかなりの長時間労働となっている。
- 適正な受益者負担額
困窮世帯への負担額を最小限に抑えた適正負担額の算出と他市町村の動向を踏まえて検討していく。
- 小中体連主催の大会出場
各種種目ごとで大会規定が異なるため、休日地域移行クラブでの参加ができず、平日顧問が帯同せざるを得ない状況がある。種目ごとのばらつきを解消していく必要を感じている。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・実証事業など各取組みを推進、学校現場との連絡調整
- ・学校開放団体との連携・生徒・保護者等の意見等の把握
- ・部活動地域指導事業検討会の開催・（仮称）地域移行推進計画の作成

◎首長部局

- ・体育協会や競技団体などとの連携
- ・文化団体などとの連携

年間の事業スケジュール

令和6年4月	11クラブ活動開始
令和6年7月	第1回検討会開催
令和6年9月	体験型イベント（スプリント教室）開催
令和6年10月	部活動地域移行周知用リーフレットの作成、保護者及び教員に配布
令和6年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討会開催 ・体験型イベント（水泳教室）開催 ・参加生徒、指導者向けアンケート実施
令和7年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回検討会開催 ・生徒、保護者、教員向けアンケート実施 ・体験型イベント（ダンス教室）開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	11校	実施した地域クラブ総数	11クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		11クラブ（11部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	33人	全体の運営スタッフ数	9人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
井野中サッカークラブ	一般企業	サッカー	月4回/ 週1回	8:00 ～ 11:00	1年生11人 2年生12人	5/12～	佐倉市立井野中学校	3人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：部活動 その他：部活動
臼井西女子バレーボール	一般企業	バレーボール	月4回/ 週1回	8:00 ～ 11:00	1年生7人 2年生2人	5/18～	佐倉市立臼井西中学校	3人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
臼井中陸上	一般企業	陸上競技	月4回/ 週1回	8:30 ～ 11:30	1年生3人 2年生5人	5/4～	佐倉市立臼井中学校	2人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：部活動 その他：地域クラブ
佐倉中卓球	一般企業	卓球	月4回/ 週1回	8:00 ～ 11:00	1年生14人 2年生13人	4/28～	佐倉市立佐倉中学校	3人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
志津中サッカー	一般企業	サッカー	月 4 回/ 週 1 回	8:00 ～ 11:00	1年生7人 2年生19人	4/28～	佐倉市立志津中学校	2人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：部活動 その他：部活動
佐倉東中陸上	一般企業	陸上競技	月 4 回/ 週 1 回	8:30 ～ 11:30	1年生1人 2年生9人	5/3～	佐倉市立佐倉東中学校	3人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：部活動 その他：部活動
上志津中男子バスケットボール	一般企業	バスケットボール	月 4 回/ 週 1 回	13:00 ～ 16:00	1年生5人 2年生4人	5/3～	佐倉市立上志津中学校	5人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：部活動 その他：部活動
南部中女子バレーボール	一般企業	バレーボール	月 4 回/ 週 1 回	8:00 ～ 11:00	1年生3人 2年生6人	5/4～	佐倉市立南部中学校	2人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
根郷中女子バレーボール	一般企業	バレーボール	月 4 回/ 週 1 回	8:00 ～ 11:00	1年生9人 2年生12人	5/3～	佐倉市立根郷中学校	3人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
西志津中女子ソフトテニス	一般企業	ソフトテニス	月 4 回/ 週 1 回	8:00 ～ 11:00	1年生1人 2年生2人	5/18～	佐倉市立西志津中学校	2人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	例) 中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
臼井南中男子バレーボール	一般企業	バレーボール	月 4回 / 週 1回	8:00 ~ 11:00	1年生12人 2年生7名	5/18~	佐倉市立臼井南中学校	3人	9人 (内、兼務9人)	モデル期間 中会費なし	例) 中体連：部活動 その他：部活動

◆イベント実施等・・・

- ・7/27 傷害予防セルフケアセミナー開催（根郷中）
- ・8/24 傷害予防セルフケアセミナー開催（根郷中）

<その他>

スポーツクラブ優待利用サービス実施（オックスベストフィットネス上志津）

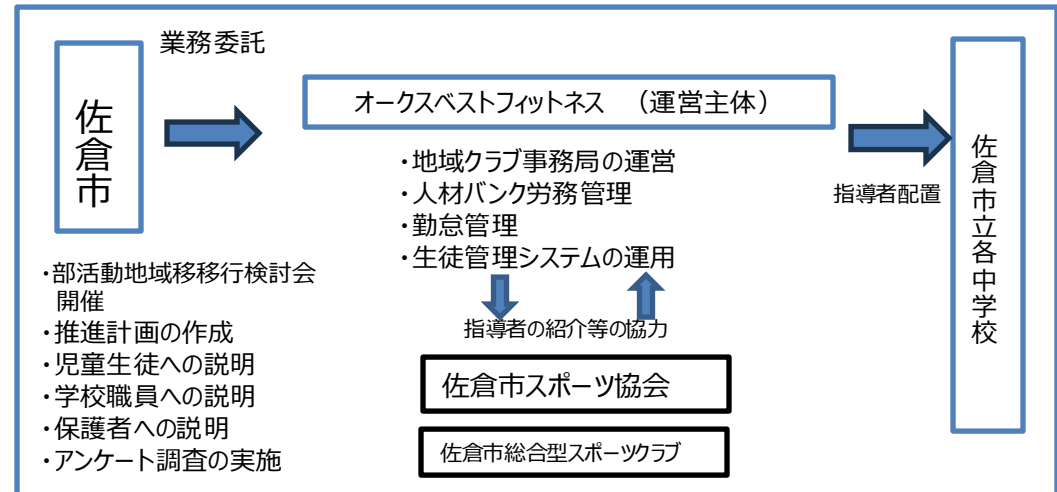
2.実証内容と成果

主な取組例

●佐倉市11クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、卓球、陸上、サッカー
運営団体名	オックスベストフィットネス
期間と日数	全クラブ：4月28日～3月31日 月4～5回程度
指導者の主な属性	地域指導員、兼職兼業教師
活動場所	佐倉市立各中学校
主な移動手段	徒歩・自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	公費負担 0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,450円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：佐倉市教育委員会指導課

●主任指導者 3名

役割：運営統括サポート

●運営補助者 6名

役割：指導員管理・巡回

問い合わせ窓口 労務・給与支払い

指導員管理システム・HP・人材バンク運用

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

公募型プロポーザルにて運営事業者を募集し、指導者の確保、現場への配置、トラブル対応などを委託。

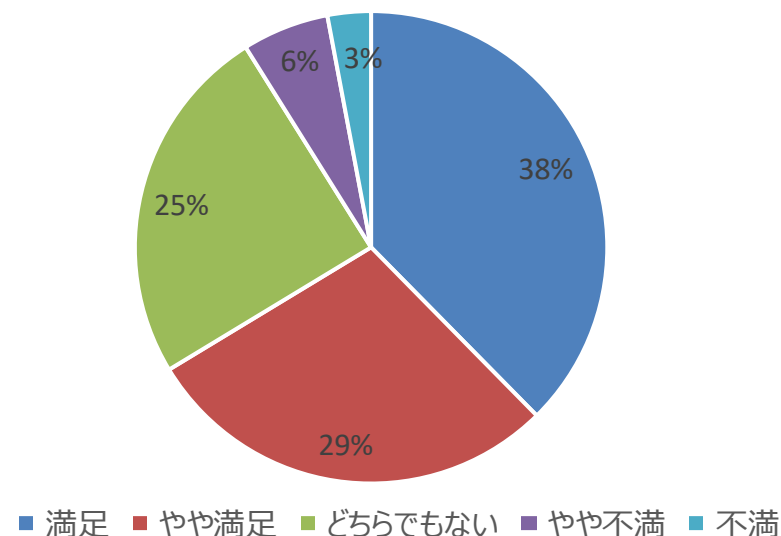
専門性のある指導者の配置による生徒、保護者、教員への効果を図るとともに、今後対象を拡大するにあたっての課題を検証。アンケート調査を実施するほか、佐倉市部活動地域指導事業検討会への報告、意見聴取など様々な角度から検証を行った。

取組の成果

参加した中学生保護者231人(2024年12月)を対象としたアンケートの結果77人が回答。現在の地域クラブの活動に満足していると答えたのが67%となっており生徒、保護者ともにおおむね満足していく活動ができています。指導者アンケートの結果から、やりがいや地域貢献を、子どもの成長を見守りたい旨の回答が半数を占めた。以前から課題となっていた指導者の報酬額、複数の指導者の配置が課題にあがっている。

兼職兼業の指導者の声としては、複数の指導者活動しているクラブは、休日の確保ができることや子どもたちが色々な指導者に教わるができる、指導する分野を指導員で分けることができ、生徒によりきめ細かい指導ができるなどのメリットがあげられた。

休日地域クラブの満足度調査



今後の課題と対応方針

アンケート結果から、この取組みに対する満足度は高いと認識しているが、反面、やや不満、不満も一定数いることが分かった。この回答をした理由を深堀し、それを改善することで、事業効果を高めていく必要がある。

また、今後は各自治体でも取組みが加速化していく中で、指導者の確保は大きな課題となってくるため、指導者にとっても魅力的な環境を創出する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

佐倉市専用人材バンクを構築し佐倉市専門で人材を募集している。人材バンクの人数は千葉県内の総数となります。

人材バンクの人数

500名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	50名
30代	100名
40代	100名
50代	100名
60代以上	150名

登録者属性

ホームページによる告知、チラシ、ポスターによる掲示、指導員同士の紹介、スポーツ協会の紹介や各種団体の紹介。また兼職兼業の先生の登録

種目

バスケットボール、バレー、ソフトテニス、卓球、陸上競技、サッカー

資格有無

競技経験、指導経験

取組の成果

専用の人材バンクを設定する事で、佐倉市で指導をしたい人材の選定が容易に行える。また、人材バンクに登録するだけで研修も受けることができる体制を整えた。さらに今後、PR活動に力を入れ行く方向となっている



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

<活動前必須研修>

- ・指導者概論
- ↳指導員としての心構え
- ↳指導員としての軸を発見する
- ・緊急時の対応
- ↳指導員の人生も守るスポーツ指導者
- ↳様々な緊急対応
- ↳AED研修
- ・指導者における注意
- ↳スポーツにおけるハラスメントとは
- ・円滑なコミュニケーション

指導者研修の参加実績

- ・活動前必須研修 32名/32名
- <その他>
- ・開催日：6月11日
- ・内容：コミュニケーション研修
- ・参加及びアーカイブ確認 32名/32名

受講者の声

- ・これから、方針に従い地域クラブに協力をしていきたい。
- ・指導に入る為の心構えを準備することができた。
- ・部活動の移行のイメージが湧かなかったが、この研修を終えてイメージが確立されたと同時に、自分自身の使命感ややりがいを感じることでできる役割だと思った。
- ・いざという時の対応など、自分自身が一番落ち着いていないといけないという理解を改めて学び、活動中に何か起きたという想定で受講することができた。

今後の課題と対応方針

生徒も指導員も安全に活動をスタートするための準備としてこのような研修を設けている。これは生徒の充実したスポーツ活動の基盤を作り、指導員の指導人生のやりがいを感じることでできる環境を整えていく効果もある。基本的に佐倉市部活動の在り方に関するガイドラインに沿ったクラブ指導が基本となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

スポーツ協会には、従来の部活動が無くなることへの抵抗感を持つ方々も一定数おり、まずはこの取組みの趣旨などをご理解いただく必要があったため、国の動向から市の取組み、今後の方向性について協会向け説明会を実施した。

取組の成果

説明前には「部活にお金がかかることは容認できない」といった声があったが、地域移行の趣旨から今後の展望などについて丁寧に説明することで、そういった反発的な声が無くなり、理解が促進されたと認識している。

今後の課題と対応方針

スポーツ協会に協力いただくことで、地域人材の活用や活動場所の確保、その他団体との連携がしやすくなるというメリットがあるため、今後も引き続き説明会を開催するなど、連携を深めていく。

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

学校によっては、顧問が確保できない、入部希望者が少ない等の理由から、部活動が設置されていない種目があり、学校ごとに体験格差が生じている。

生徒がやりたい種目に参加できる取組みとして、2校2部活を拠点校部活として、市内全域から参加できる仕組みを構築する。

各自治体の役割

市全体の中で部活数の少ないバドミントン部、ソフトボール部を選定し、各校との協議の上、対応可能な学校として志津中学校（バドミントン部）、臼井中学校（ソフトボール部）と決定した。

移動手段

徒歩、自転車、親の送迎

取組の成果

全中学校の生徒に本取組みを周知し、参加者を募ったところ、各種目とも数人から参加希望があった。しかし、移動手段や大会登録の関係で参加を見合わせる生徒が多く、参加者はソフトボール部に1名のみとなった。

今後の課題と対応方針

バドミントンについては、大会の参加規程で、拠点校部活動の登録が認められず、これを理由として参加を見送る生徒が多数いた。地域移行の趣旨を鑑みると、こうした整備の遅れは生徒にとって大きな不利益になるため、各種目への働きかけを行っていきたい。また、移動手段の確保についても課題であると認識している。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

体験型イベント等の開催

今年度は11校11部活の地域移行を実施したが、当該部活動に加入していない生徒に対しても、地域移行の取組みを周知していく必要があるため、全市から参加者を募って以下のイベントを開催した。

- 9月27日 スプリント教室
- 11月16日 オンライン傷害予防セミナー
- 12月26日 プール開放&水泳教室
- 2月1日 オンライン栄養セミナー
- 3月2日 ダンスイベント (予定)

今後の課題と対応方針

参加した生徒からは概ね好評であり、こうしたイベント、特にダンスのような部活動にはない新たな種目の体験の機会は貴重であると考えます。

今後は、場所の確保や参加者の自己負担額などを検討していく必要性を感じている。



12月26日開催のプール開放&水泳教室の様子

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

■ 傷害予防セルフケアセミナー

■ 7月27日（土）
10:00～11:00

■ 場所：根郷中学校

■ 講師：そら鍼灸整骨院

■ 内容

セルフケアストレッチ
 傷害予防テーピング など

活動の詳細

参加人数	18人	指導者数	2人
属性	根郷中/女子バレークラブのみ対象		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフケアストレッチ ・傷害予防テーピング など 		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 改めて怪我をしない為にケアが大事という事が分かった ● 指のテーピング方法を知れて良かった ● 新しいストレッチ方法を多く学べた 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者：親も一緒に学ぶ事が出来て良かった ● 保護者：部活とは違い特別な体験が出来た ● 指導員：生徒達がセルフケアが出来る様に継続的に指導していきたい 		
運営経費	謝金：5,000円 テーピング代：3,000円 スタッフ人件費：5,000円 ※いずれも公費負担のため参加者からの徴収はなし		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等（運営に係るコストの算出、収入源の模索及び負担割合の検証）

取組事項

運営に係るコストについて、今年度の委託事業者からのヒアリングや、他市へのヒアリングを通じて試算を行ったほか、コストに対する受益者負担についても検討を行った。

このほか、保護者へのアンケートにおいて負担割合について調査を行った。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

イニシャルコストとしてかかる経費としては、以下の項目が想定され、この経費におおよそ1千万円ほどかかる見込み。

- ・指導者を確保するための人材バンクの構築費
- ・生徒や指導者管理システム
- ・連絡用アプリ
- ・謝金支払いシステム

■ランニングコストの分析

ランニングコストとしてかかる経費は、以下の項目が想定される。指導者謝金の設定や、クラブ数によって大きく増減するため、受益者負担の設定を含め、より詳細に検証する必要がある。

- ・事務局人件費 ・指導者謝金
- ・スポーツ安全保険 ・備品、消耗品購入
- ・システムの保守管理費 など

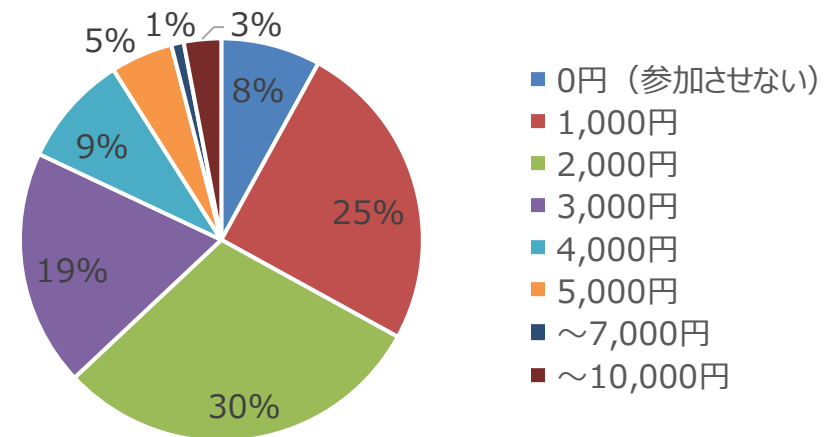
保護者アンケートの結果

対象：地域移行クラブに参加した生徒の保護者

回答者数：77名

保護者の負担割合に対する意向としては、月2,000円程度が最も多く、次いで月1,000円、3,000円が続く。

指導者の確保を考えるともう少し負担する必要があると認識しつつも、他の習い事を持っており、極力安価になることを要望する声もあった。



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

指導体制、運営団体の整備

公募型プロポーザルにより運営団体を募集し、指導員の確保、現場への配置等を委託することで、予定通り全校（11校11部活）で地域移行の実証実験を実施した。

佐倉市版人材バンクの整備

市ホームページに佐倉市専用の人材バンクを構築したことにより、広く人材の募集を行った。

佐倉市スポーツ協会との連携強化

指導者や練習場所の確保に向けて連携を深める必要性のある、佐倉市スポーツ協会に本事業の説明を行い、正しい理解の促進に努めた。

イベント開催を通じた体験機会の創出

11校11部活に参加していない生徒に対しても専門的な指導を受けられるよう、スプリント教室などの体験型イベントを複数実施した。

コストの算出及び負担割合の調査

他市事例や今年度委託費から、イニシャルコストとランニングコストを算定したほか、保護者に対して負担割合の意識調査を実施した。

●成果の評価

令和5年度には1校1部活のみの実証事業を11校11部活に拡大して実施出来た。指導現場でのトラブルについては、委託事業者に丸投げすることなく、教育委員会が積極的に間に入り、調整を行ったことで大きなトラブルに繋がる前に処理できたと自負している。結果として参加した生徒の保護者からは、活動に対して「満足している」との回答が約7割集まる結果となった。

また、今後はいずれの自治体でもこの取組みが促進される中、佐倉市専用の人材バンクの構築し、一定の指導者を確保することができた。さらに、佐倉市スポーツ協会との連携を深め、指導者や練習場所の確保に繋げることができた。

さらに、イベント開催を通じて多くの生徒に地域移行のメリットを直接感じてもらえるよう、専門的な指導を受けられる機会の創出に努めた。

●今後に向けて

今後、全ての部活動の地域移行を進めていくうえでの大きな課題は以下2点である。

①指導者の確保

クラブ数に応じて指導者を確保する必要がある。また、近隣自治体でも同様の課題を抱えていることを考えると、指導者の奪い合いをするのではなく、近隣との合同チームも視野に入れる必要がある。

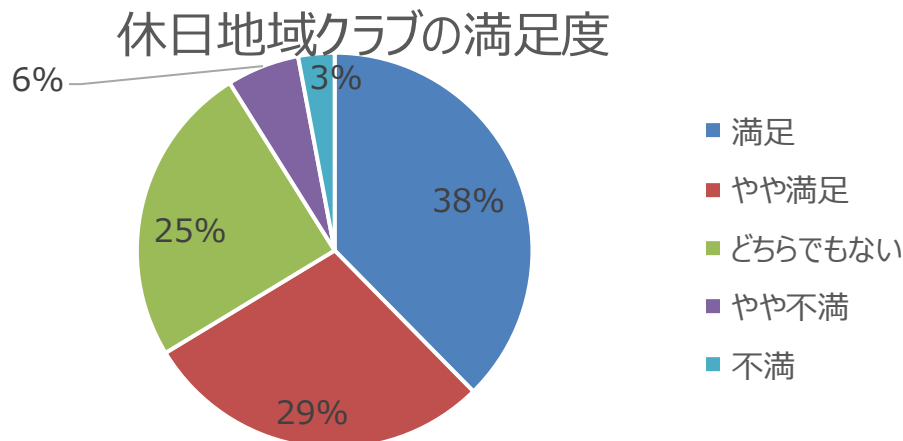
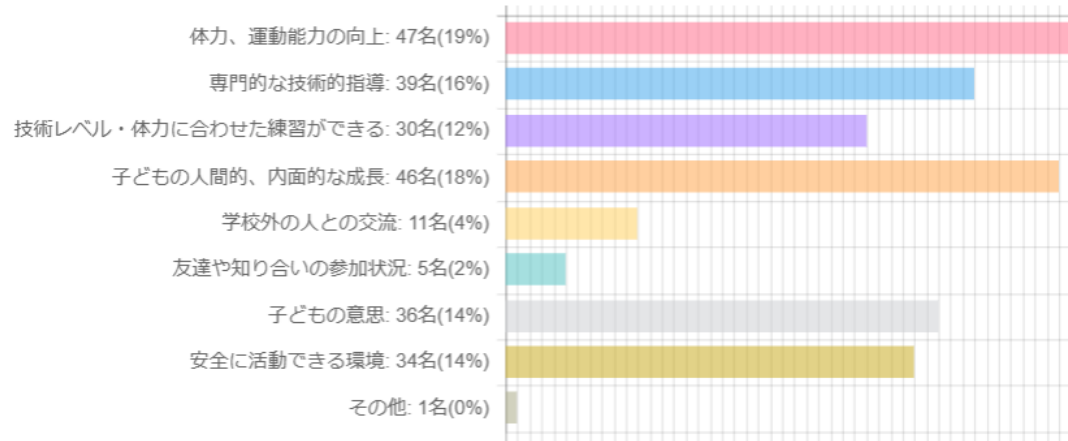
②受益者負担への理解

令和5年度、6年度ともに実証実験として受益者負担は取ってこなかったが、持続可能な体制を整備するうえでは受益者負担は必須だが、保護者への丁寧な説明をしていく必要がある。

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（保護者）

4. ④お子様を休日の地域クラブ活動に参加させる上でどんな事を重要視していますか？（複数回答） 【必須】 【複数選択】



●参加者の声

保護者

子供見ていて、充実した時間を過ごせているのを感じるため。専門の先生に、技術的な指導をしてもらえて、ありがたいです。また、本人が楽しそうに活動している様子を話してくれるため会話が増えました。

保護者

部活動と同様に、地域クラブも子どもの成長に期待をしています。内面的な部分と人間的な成長は子どもにとって必要なことだと考えます。

保護者

部活動では、専門的な知識のない顧問の方と聞いていたため、このように地域移行で専門的な指導が受けられるのは非常にありがたい。

保護者

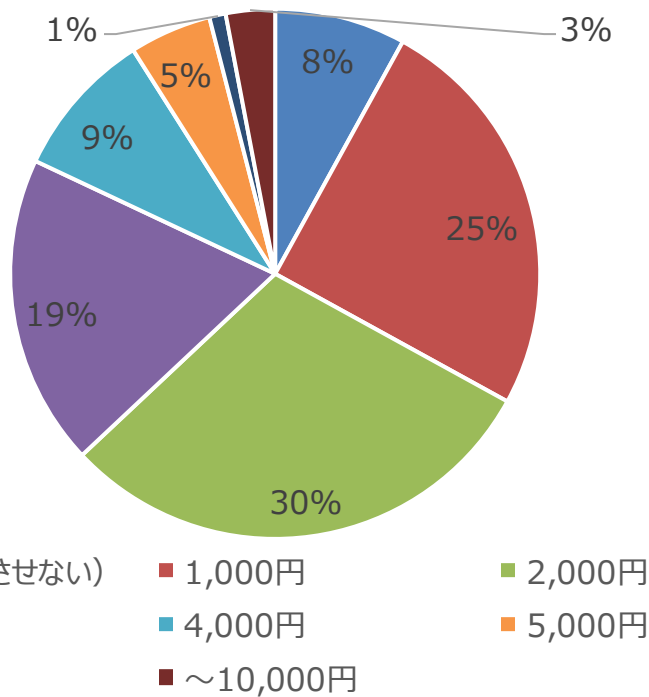
安全に活動できる環境が整っており、安心して見守ることができます。

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（保護者）

7. ⑦今後、参加費用がご家庭にて発生する場合にはいくらまでであれば参加させたいと思いますか？
※現在と同様に週1回、月4回程度の活動の場合

[必須] [単一選択]



●参加者の声

保護者

子どもがやりたいと言えばその望みをかなえてあげたいと感じます。しかし、他の習い事もある為そのあたりを考慮した金額設定を願います。

保護者

2,000円くらいが妥当ではないかと考えます。しかし、運営の方々や指導員の方のことを考えるともう少し必要な気がします。

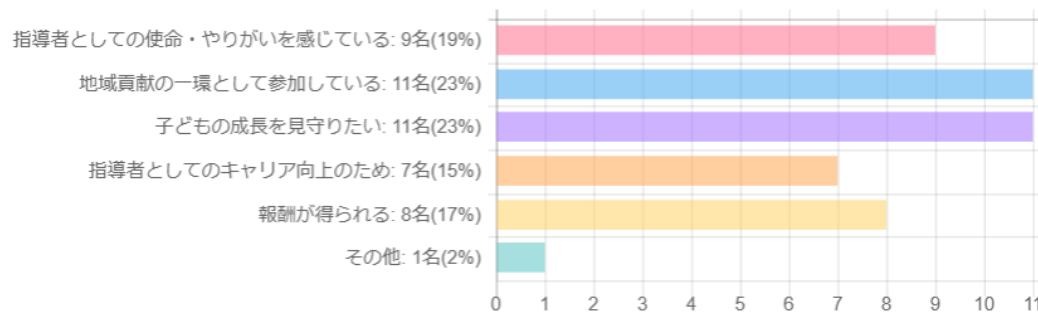
保護者

他にも兄弟がいて習い事をしています。そのあたりの負担もあるのでできるだけ、安価な設定でお願いしたいです。

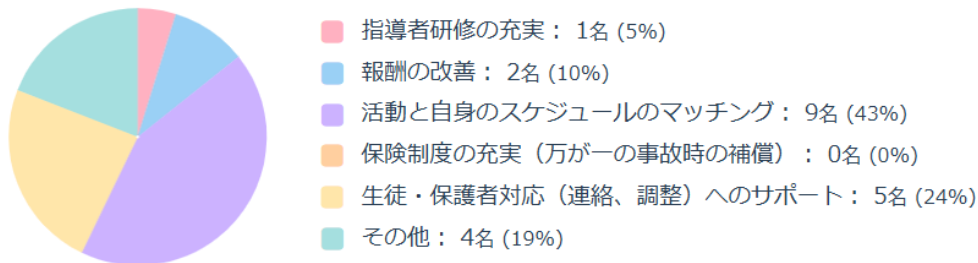
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（指導者）

3. ③指導員として活動している理由を教えてください [必須] [複数選択]



4. ④指導を続けていく上で重要だと思うことは何ですか。
指導者の視点から、重要だと思うもの1つを選んでください [必須] [単一選択]



●参加者の声

指導者

子供たちの成長を見ることができて嬉しい。指導していてできるようになる瞬間が指導していて楽しいと感じる。

指導者

生徒と保護者との連携がとても大切になってくるがアプリを活用し、スムーズに対応などが行えているため、安心して活動に専念できる。

指導者

地域貢献の一環として指導に当たっている。これからの未来ある子どもたちの為に、自分自身の経験を教えていきたい。

指導者

指導にとってもやりがいを感じています。子どもの成長を一番近くで見ることができて嬉しいです。また保険など安全面も充実しており安心です。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

【井野/サッカークラブ】



【上志津/男子バスケットボールクラブ】



2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

【志津/サッカークラブ】



【西志津/女子ソフトテニスクラブ】



2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

【白井/陸上クラブ】



【白井南/男子バレーボールクラブ】



2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

【白井西/女子バレーボールクラブ】



【佐倉東/陸上クラブ】



2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

【根郷/女子バレーボールクラブ】



【佐倉/卓球クラブ】



2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

【南部/女子バレーボールクラブ】



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域移行実証事業	令和6年度に引き続き1校11部活で地域移行→											
検討会			開催					開催				開催
推進計画策定	推進計画(骨子)作成					推進計画(素案)作成			推進計画(案)作成			推進計画策定
保護者等への説明				説明会開催						推進計画(案)説明会		

令和7年度は、11校11部活の地域移行を継続しながら、推進計画の策定に注力する。

また、受益者負担の在り方の検証を進め、保護者などへの説明会を開催し、本事業への理解を促進する。

令和8年度以降は、推進計画に基づき、準備の整った部活動から地域移行を進め、地域移行クラブ数を着実に増加させる予定。

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 柏市

自治体名：千葉県 柏市

担当課名：柏市教育委員会 学校教育部指導課

電話番号：04-7191-7369

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	114.74 km ²
人口	436,409 人
公立中学校数	21 校
公立中学校生徒数	10,294 人
部活動数	約250 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	有
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	部活動のあり方に関するガイドライン【中学校版】

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

柏市では、令和5年度より陸上競技部と吹奏楽部を除く全ての部活動（土日に活動をしていた競技を対象に）の地域移行を開始。

運営団体である一般社団法人柏スポーツ文化推進協会（KSCA）統括のもと、約150のクラブが立ち上がった。

令和6年度には、陸上競技部と吹奏楽部の地域移行に向け準備を進めた。

特に、陸上競技部と吹奏楽部の地域移行に向けては、運営団体・専門委員長（兼職兼業の顧問）・教育委員会で運営方法について検討を重ねた。

令和6年度11月より陸上競技と吹奏楽の地域クラブがスタートしたことで、部活動の地域移行が完了した形となる。

地域クラブの運営には勤務管理や保護者への連絡等、様々なシステムが必要不可欠である。

一方で、使用するシステムが増えることで保護者や指導員からシステム使用に関する負担の声が増えた。

本実証事業では、地域クラブの運営に必要なシステムを精選し、改良することで、より効率的な地域クラブの運営に向けて取り組んだ。

部活動の抱える課題

少子化に伴う部活動数の減少
教員が子どもと向き合う時間の確保（働き方改革）

↓
学校単位の部活動の限界

↓
今後、求められること自治体・地域・学校が連携し
【子どもたちの活動環境を持続可能な形で確保する】

↓
学校部活動を地域へ移行（展開）していく

休日の部活動を地域クラブに移行

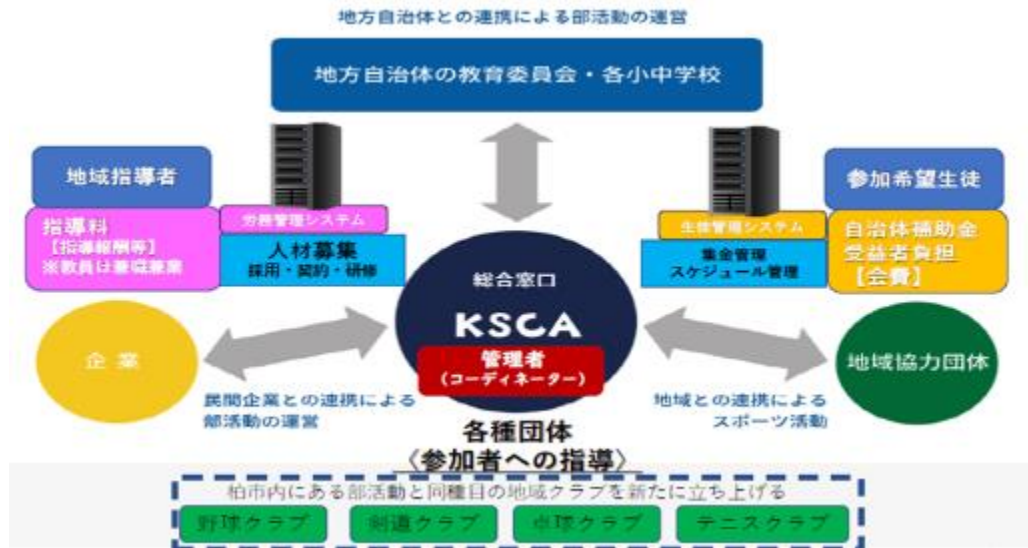


部活動のあり方に関するガイドライン【中学校版】（令和6年9月施行）
（学校部活動）土日は原則、活動を行わない
▶土日に活動を望む生徒、教職員の活動機会の確保＝地域クラブ
*地域クラブへの登録は任意

2.実証内容と成果①

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・運営団体と協定・連携
- ・学校と運営団体との連絡調整

◎首長部局

- ・補助金等交付に際しての事務

年間の事業スケジュール

令和5年 9月	部活動の地域移行開始 13種目（約150クラブ）
令和6年 1月	次年度へ向けた指導員募集
令和6年 3月	次年度へ向けた体制整備
令和6年 4月	新年度の体制に向けた 引継ぎ期間
令和6年 5月	新体制での地域クラブ開始
令和6年 6月	陸上競技開始に向けた予備調査 管理職向け説明会
令和6年 10月	新システム構築へ向けた検討会等 開始
令和6年 11月	陸上競技の地域クラブ開始 全種目の地域移行が完了
令和7年 1月	システム導入に向けた試験運用等 開始
令和7年 2月	アンケート調査実施

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	21校	実施した地域クラブ総数	175クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		170クラブ（12部活）
	B：部活動にはない種目など、新規のクラブ数		5クラブ
全体の指導者数	約300人	全体の運営スタッフ数	約5人

②各クラブに関すること

中学校名	クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
市内中学校	地域クラブ	柏スポーツ文化推進協会 (KSCA)	17種目	・平日 0回 ・休日 1回 土日どちらか	施設の空き状況により変動 3時間	中学生 1～3年生	通年	約300人	約5人 (内、兼務5人)	年間登録料 5,000円/月会費 2,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

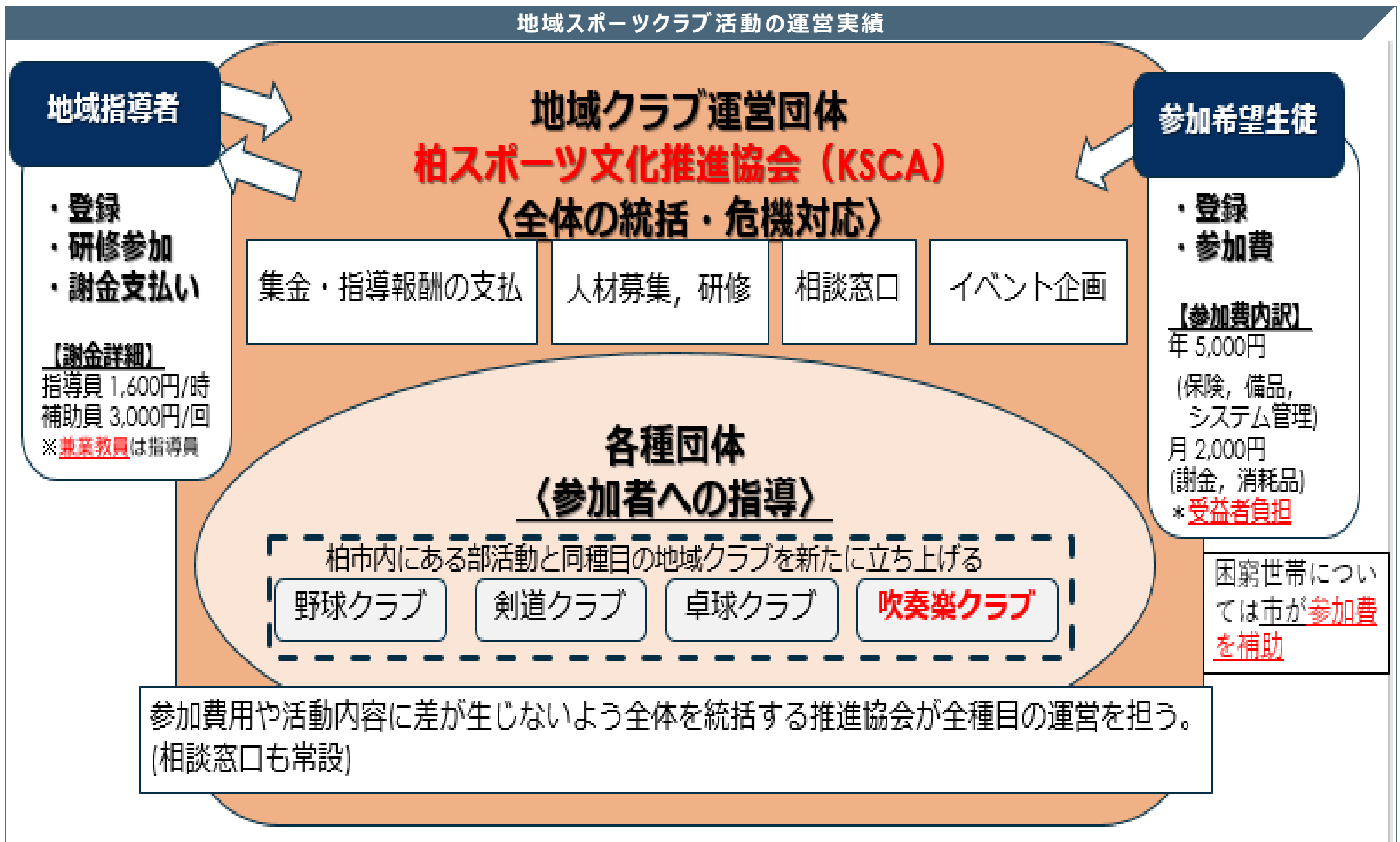
※詳細についてはスライド5, 6へ記載

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ダンスクラブは文化施設を借りて発表会を実施
- 保護者と生徒が参加できる栄養学セミナーの開催
- 野球クラブは地元企業協賛で冠大会を開催
- その他の種目についてもKSCA主催大会や交流試合を実施

2.実証内容と成果②

地域スポーツクラブ活動の運営実績



地域クラブ活動の運営実績

休日部活動 ⇒ 地域クラブ展開 (クラブ数/加入生徒数)

市内中学校数 公立校 21校
 全18種類 (R7さらに新クラブ設置予定)
 クラブ数 196クラブ
 合計 3,224名 (*現3年生は除く)

指導者数		
教員(6割)	一般(4割)	計
約178名	約136名	304名

バスケットボール (C38/599)	ソフトテニス (C25/421)	軟式野球 (C14/245)	バドミントン (C11/169)	剣道 (C9/77)	ハンドボール (C1/24)	体操 (C1/2)	ダンス (C1/7)	吹奏楽 (C21/424)
								
相撲 (C1/20)	卓球 (C18/351)	サッカー (C16/276)	ソフトボール (C2/27)	バレーボール (C18/333)	柔道 (C2/11)	女子サッカー (C1/5)	陸上短・長距離 (C16/210)	硬式野球 (C1/23)
								

2.実証内容と成果④

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

現在、地域クラブで使用しているシステムや連絡方法等について、令和5年度末に実施した指導員・保護者への満足度調査の中で、不満の声が挙がった。

そこで、地域クラブの運営に必要なシステムを精選し、改良することで、より効率的な運営に向けて取り組む。

そして、運営団体や指導員・保護者・学校等の関係各所のシステム使用に伴う負担感の軽減を図る。

令和6年度末に再度指導員、保護者への満足度調査を行いシステムについて改善が見られたか、また、今後の課題について洗い出す。

取組の成果

受益者負担型の地域クラブを総括・運営する団体としてクラブ入会・退会等の導線が不明瞭な部分が多かったが、Webページとの連動性を設け保護者が簡易かつ明確な操作が可能な状況へと改良された。活動スケジュールにおいても、総合的なスケジュールはwebサイトより閲覧可能であったが、登録されたマイページの中で活動スケジュールを週間ごとに適宜確認することが出来、指導者もマイページより修正・変更等をかけられるようになり、スケジュール相違が減少させることが出来た。出欠管理においては、出席表明のみとなっていたが早退、遅刻なども選択出来るようになり、クラブ生の動向が明確となり通会の安全面等も向上した。費用徴収におけるシステムは、一定のweb決済は行えたものの振替等に関しては、アナログな書面の取り交わしをしていたが、スマートフォン等のwebからの登録操作が可能となり、諸手続きの簡略化が実現された。また大会費等の都度回収費用なども対応可となった。運営側から個別にメッセージが出せなかったが、1on1の双方向性が可能となり保護者との連絡が円滑となった。最後に指導者の労務管理も、アナログなシートを活用していたが、勤怠管理システムを刷新させ、生徒管理システムデバイスのサイト連携を図れるように改良された。



今後の課題と対応方針

学校施設利用において、学校側、地域クラブ側での調整が、専任者において引き続き必要な状態であり、月間での作業負担となっている。また文化部等の校舎利用なども必要となる中、セキュリティー問題も課題となっている。対応としては活用区分や利用者をデジタルで管理すべくスマートロックや入退館記録型のデバイスも導入し可視化する。アナログな鍵の施錠や利用管理に手間を取ること無く安全に利用することが出来るようになる。また、公式大会の地域クラブ参加における運営側の人員確保また、大会開催における要項等の統一、運営の協力体制など、引継ぎなど併せて、新しい活動モデルを構築していく必要がある。その中で、より種目ベースで詳細な運営体制を協議し、子ども達の活動環境の持続性を高めていきたいと考える。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

地域クラブの運営には勤務管理や保護者への連絡等、様々なシステムが必要不可欠である。

一方で、使用するシステムが増えることで保護者や指導員からシステムの使用に関する負担の声が挙がっていた。

本実証事業では、地域クラブの運営に必要なシステムを精選し、改良することで、より効率的な地域クラブの運営に向けて取り組んだ。

運営団体とは、現場に求められるシステムについて繰り返し協議を行った。

実践の一例として、今年度は、市内全中学校に導入している連絡ツールの使用を試みた。これにより、保護者や兼職兼業職員は、学校で使用している連絡ツールと同じもので、地域クラブからの一斉連絡を簡単に受け取ることができる。

これにより、連絡ツールに対する満足度調査では、生徒・保護者からは肯定的な回答の割合が8割以上と高い結果を得ることができた。

一方で、指導員への連絡ツールに対する満足度調査では、教員からは肯定的な回答が約6割。一般の指導員からは肯定的な回答が約4割にとどまった。

●成果の評価

システムの精選、改良を行ったことで、生徒・保護者からはシステムの使用感に関して、当初の目標をであった満足度8割以上を達成し、成果を得ることができた。

一方で、指導員からはシステムの使用感に関する満足度については、目標には届かない結果となった。しかし、本実証事業を通して、指導員が求めるツールやシステムについて、改めて確認することができたことは大きな成果と言える。

特に、指導員からは大きく2点、地域クラブの連絡システムに求める声が続いている。

まず、1点目は「個々への連絡」についてである。意見として、大きな怪我や急な変更等については、より連絡のスピード感を求める声が続いた。また、顧問との連絡調整なども部活動と地域クラブを連携させていく上では必要不可欠であるとの意見が続いた。

2点目は、「スケジュール機能」についてである。現在も、システム上でスケジュールをまとめたり、変更したりすることができるように改善はされているが、施設調整の難しさからか、課題として感じている声が多かった。

●今後に向けて

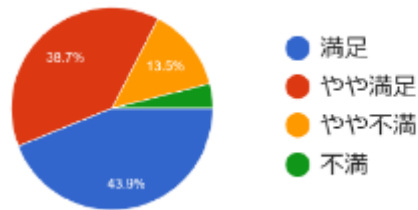
本実証事業では運営団体と協議を重ね、システムの精選、改良を行い、成果を得ることができた。

挙がってきた課題に対しては、引き続き協議を重ね、より良いシステムを構築していくことで、地域クラブの運営がより円滑に行われるよう努めていく。

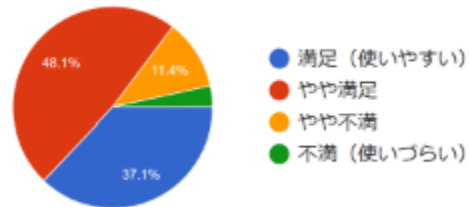
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（生徒・保護者）

Q.クラブ活動に対して満足していますか？

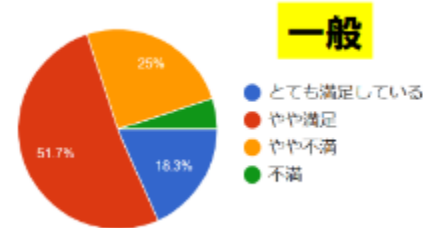
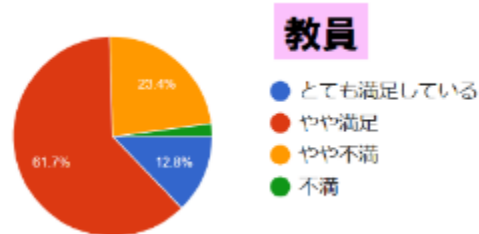


Q.専用連絡ツールの利用に関する満足度を教えてください

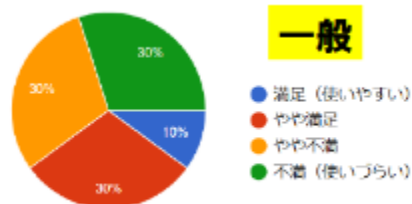
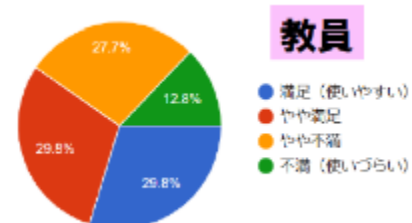


●アンケート結果（指導員）

Q.本クラブの活動内容についての満足度を教えてください



Q.専用連絡ツールの利用に関する満足度を教えてください



●参加者の声

生徒（令和6年度新設：陸上クラブ）

- ・拠点校方式では、複数の学校が合同で活動を行っているため、お互い良い刺激となっている。
- ・他校の生徒との交流ができて嬉しい。

指導者（一般）

- ・横の繋がりもあるので他校とのコミュニケーションも取れるようになってきている。
- ・競技未経験でも、楽しいからという理由で参加してくれる子が増えた。
- ・子ども達の成長の一助になっていると実感できる点良かった。

指導者（教員）

- ・生徒が外部のコーチと接することで、より社会性を身に付けられると思う。
- ・学校には来られなくても、地域クラブには来られる生徒がいる。長欠生徒や学校で活躍の場が少ない生徒の居場所になっている。
- ・地域クラブと部活動の連携をより確実にする。顧問も地域クラブに任せきりではなく、連携・連絡・調整等に関わっていくことが大切である。

広報資料

関連リンク

【運営団体HP】

<https://kashiwa-sca.jp/>

生徒登録, 指導員登録,
活動スケジュール, 問い合わせ 等



【地域クラブNet】

<https://kashiwa.chiikiclub.net/>



【動画説明：【部活動地域移行】柏市の部活動…”
クラブ化”するとどう変わる？】

<https://www.youtube.com/watch?v=nP09Lppvwk4&t=3s>



2.実証内容と成果⑧

参考資料（活動写真）



【主催大会の様子（野球）】



【今年度スタートした陸上クラブの様子①】



【今年度スタートした陸上クラブの様子②】



【指導員へのスキルアップ研修の様子】

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

柏市の部活動改革ロードマップ					
年度	地域移行	中学校部活動		小学校特設クラブ	部活動ガイドライン
R 2	●地域移行の方向性をWGにて協議	●部活動のあり方をWGにて協議		◇バスケットボール教室廃止を周知 ※感染症の影響により大会なし	
R 3	地域運動部活動推進事業 【1校4部活動】 ・地域人材を確保・仕組み ・地域部活動の運営団体の確保 ・費用負担のあり方整理 ・学校と地域の役割分担整理 地域移行を周知	【休日】 部活動	【平日】 部活動	●バスケットボール教室廃止 ※感染症の影響により大会なし	【ガイドライン改定】 ・小中別々に策定 ・活動時間、活動日の削減
R 4				◇「柏市主催行事」廃止を周知 ・陸上競技大会（陸上4・1校出場） ・音楽発表会（吹奏楽4・2校出場）	
R 5	部活動の地域移行開始 ・R5.9月 全市的に休日ににおいても活動していた13種目 ・R6.5、6月 部活動にない2種目（ダンス、女子サッカー） ・R6.10、11月 校舎内を使用する文化部（吹奏楽）、特性を生かした陸上競技	地域クラブ		●「柏市主催行事」廃止 ・陸上競技大会（陸上3・7校出場） ・音楽発表会（吹奏楽3・4校出場）	●部活動ガイドラインをWGにて協議
R 6				(吹奏楽5校活動)	【ガイドライン改定】 ・土日は原則、活動を行わない ・今後の方向性示す
R 7	地域移行完了(休日) ※大会の要件によっては、部活動としての活動あり ●小学生(高学年)の受け入れ態勢の整備 ●中体連、協会、連盟主催大会の参加要件、運営方法の整備	部活動改革推進期間 ・各校の活動の見直し ・廃止へ向けた周知の期間 【今後の在り方】 吹奏楽：県や地域、独自の発表会 陸上競技：地域クラブ中心		●部活動ガイドラインをWGにて協議	
R 8	【地域クラブの魅力の創出と充実】 ●地域クラブ主催大会等 ●多世代や地域との交流 ●新種目の展開(フライングフットボール、美術、英語、演劇、PC等)	●総合部活動(運動・文化)の充実		原則、活動を行わない ※大会や地域行事等参加のため活動を行う場合は1カ月程度	【ガイドライン改定】 ・完全下校17:00 ・小学校版廃止

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 市原市

自治体名：千葉県市原市

担当課名：市原市 地方創生部 地方創生課

市原市教育委員会 教育振興部 指導課

電話番号：地方創生課：0436-26-6350

指導課：0436-23-9849

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	368.16 km ²
人口	266,861人 (R7.1.1現在)
公立中学校数	21校
公立中学校生徒数	6,375人 (R6学校基本調査)
部活動数	235部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	R5年度 設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	R6年度現在未済 (R7年度未予定)

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

- ・市原市は、千葉県のほぼ中央、都心から50km圏内に位置し、その範囲は、東京湾から房総丘陵にかけて、東西約22キロメートル、南北約36キロメートルと南北方向に長い市域となっている。
- ・令和7年1月1日現在の人口は、266,861人、世帯数は131,992世帯、令和6年度学校基本調査による中学校数は、21校、生徒数は6,375人である。
- ・市域における中学校の分布は、J R沿線の海岸部の人口が多い地区にほぼ集まっており、中山間部は少ないという状況である。
- ・平成元年から30年間の公立中学校数生徒数は、5割減で推移、今後もさらなる減少が予測され、

全国と同様、部員数の減少に伴い、学校単位での大会参加が難しくなっていることや競技経験のない教職員による指導などの課題を抱えている。

・とりわけ、東京圏にありながらも市域が広域な本市は、同一市域内であっても人材や地域資源が偏在していることから、民間や既存クラブなどへの一律の地域移行が困難であることに加え、移動距離を考えた場合、交通手段などの問題が大きくのしかかることとなるため、単純に民間事業者への包括的な委託により賄うというのは現実的な対応ではない。

(中学校)

No.	学校名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度							
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数						
1	八幡	3	15	2	528	3	15	538	4	16	584	4	18	657	4	18	658
2	船間	2	6	1	123	2	6	121	2	8	113	2	8	111	2	4	100
3	市原	2	5	1	124	2	5	123	2	6	137	2	6	131	2	4	115
4	五井	2	24	2	884	3	24	868	4	23	837	3	22	773	2	22	778
5	東海	2	3	1	78	1	3	81	1	3	69	1	3	59	1	3	63
6	姉崎	2	10	2	319	2	10	318	2	9	298	2	9	297	4	9	285
7	三和	2	5	1	131	2	5	127	2	3	104	2	4	105	2	3	105
8	磯津	2	4	1	111	2	5	128	2	5	136	2	6	170	2	7	222
9	市原	3	3	1	56	1	3	51	2	3	49	2	3	57	2	3	56
10	鉄巴台	2	17	1	555	2	16	517	2	15	486	3	15	474	3	13	444
11	加茂	1	3	1	61	1	3	50	1	3	45	1	3	44	1	3	51
12	南総	2	9	2	250	2	9	256	2	8	231	2	8	235	2	6	212
13	若葉	3	9	3	337	3	9	320	3	9	302	2	10	301	2	9	303
14	有秋	2	11	2	337	2	12	359	2	11	345	2	11	360	2	11	370
15	八幡東	2	4	1	102	2	4	94	2	3	77	2	3	77	2	3	77
16	国分寺台	2	9	3	301	3	9	310	2	9	306	2	9	290	2	9	292
17	崎東	2	6	1	170	2	6	178	2	6	178	2	6	167	2	6	175
18	双葉	2	7	2	227	2	6	206	2	7	228	2	7	229	2	8	237
19	千種	2	14	2	449	2	13	430	2	12	394	2	12	380	2	12	355
20	国分寺西	2	11	1	361	2	11	382	2	12	394	3	12	385	2	11	353
21	ちはら台南	2	21	2	725	3	21	760	3	21	748	3	21	755	2	20	736
22	ちはら台西	2	12	2	405	2	12	433	2	13	450	2	14	483	2	14	465
合	計	43	208	6,634	46	207	6,650	48	202	6,511	46	204	6,463	45	195	6,375	

令和6年度市原市教育要覧

市原市学校部活動生徒数等・年次比較

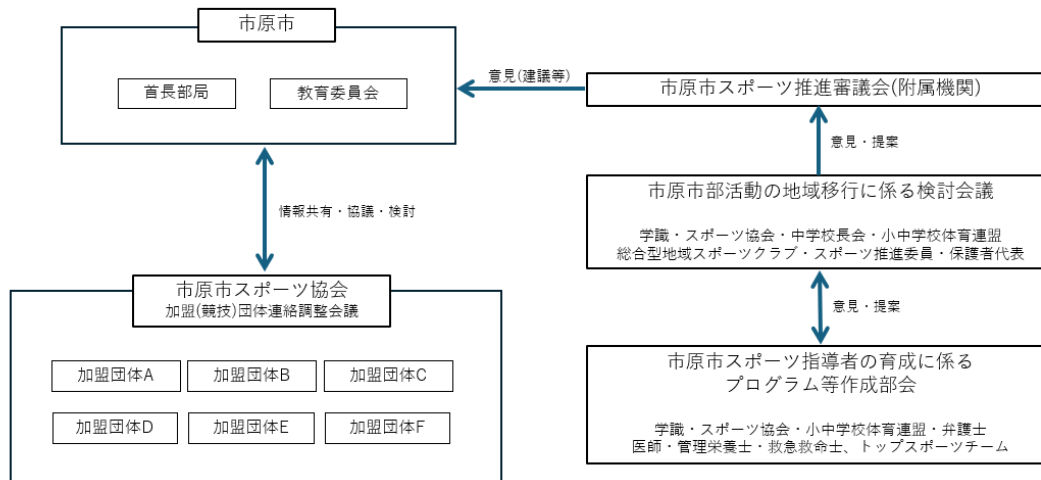
競技名	平成30年度 (人)	令和6年度 (人)	増減数	増減率
陸上競技	193	140	▲53	▲27.5%
水泳	44	20	▲24	▲54.5%
サッカー	564	452	▲112	▲19.9%
バスケットボール	692	546	▲146	▲21.1%
軟式野球	323	243	▲80	▲24.8%
ソフトボール	110	59	▲51	▲46.4%
ソフトテニス	847	709	▲138	▲16.3%
卓球	861	650	▲211	▲24.5%
バドミントン	244	270	△26	△10.7%
バレーボール	346	394	△48	△13.9%
柔道	95	53	▲42	▲44.2%
剣道	246	171	▲75	▲30.5%
合計	4,565	3,707	▲858	▲18.8%

令和6年度市原市教育委員会調査

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- 学校部活動が地域に移行することで、現状と何が変わり、現状にどういった影響が生じるのかについて確認するため、現行の学校部活動のスタイルのまま、地域クラブ活動を実施した場合のモデル事業を実施する。

◎首長部局

- 学校部活動を受け入れる地域の体制(受け皿)を早期に構築するため、多くの関係者を巻き込みながら、令和6～7年度において、地域クラブ活動の将来展開をイメージしたモデル事業を実施する。

年間の事業スケジュール

- 令和6年5月 ・ 令和6年度第1回スポーツ推進審議会
- 令和6年6月 ・ 第6回検討会議
- 令和6年7月 ・ 第1回プログラム等作成部会
・ 第2回プログラム等作成部会
- 令和6年8月 ・ 第3回プログラム等作成部会
- 令和6年9月 ・ 第7回検討会議
・ ベースプログラム(講習会)
- 令和6年10月 ・ 競技別プログラム(バレー①)
・ 競技別プログラム(バレー②)
- 令和6年11月 ・ 競技別プログラム(剣道①)
・ 競技別プログラム(剣道②)
・ 競技別プログラム(バレー③)
・ ソフトボール技術講習会
- 令和6年12月 ・ 競技別プログラム(バレー④)
・ 競技別プログラム(バレー⑤)
・ 競技別プログラム(バレー⑥)
- 令和7年1月 ・ 競技別プログラム(バレー⑦)
・ 競技別プログラム(剣道③)
・ 競技別プログラム(剣道④)
- 令和7年2月 ・ 第4回プログラム等作成部会
・ 第8回検討会議
・ 第1回市スポーツ協会加盟団体連絡調整会議
- 令和7年3月 ・ 令和6年度第2回スポーツ推進審議会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	21校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	6人	全体の運営スタッフ数	6人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
八幡・菊間ソフトボールクラブ	クラブ主体	ソフトボール	月3、4回／週1回	8:00～11:00	1年生6名 2年生6名 3年生4名	令和6年4月～令和7年3月	八幡中学校	2人	3人	月会費0円 ※モデル事業のため市費・国費負担	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
ちはら台南ソフトボールクラブ	クラブ主体	ソフトボール	月3、4回／週1回	8:00～11:00	1年生9名 2年生8名 3年生3名	令和6年4月～令和7年3月	ちはら台南中学校	2人	1人	月会費0円 ※モデル事業のため市費・国費負担	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
ちはら台西ソフトボールクラブ	クラブ主体	ソフトボール	月3、4回／週1回	8:30～11:30	1年生2名 2年生13名 3年生5名	令和6年4月～令和7年3月	ちはら台西中学校	2人	2人	月会費0円 ※モデル事業のため市費・国費負担	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●ソフトボール技術講習会

・市ソフトボール協会主催で、指導者の技術講習会及び生徒の競技力向上を目指した講習会を行った。

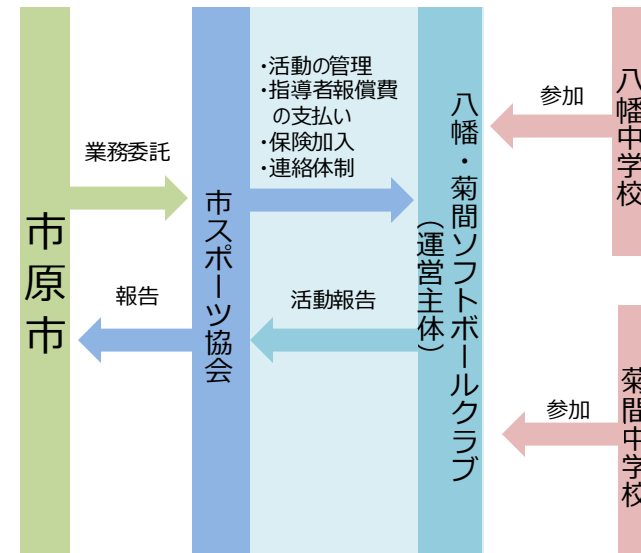
2.実証内容と成果

主な取組例

●八幡・菊間ソフトボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトボール
運営団体名	八幡・菊間ソフトボールクラブ
期間と日数	月3、4回/週1日
指導者の主な属性	中学校教員
活動場所	八幡中学校
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	月会費なし ※モデル事業のため市費・国費負担
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●運営スタッフ

- ・クラブ代表者 1名
役割：活動における管理者として、指導者、保護者との連携を行う。
- ・指導者 2名
役割：活動における生徒への指導を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・ソフトボール競技のモデル事業に関し、下記事業と並行しながら、引き続き検証を行う。
- ・「指導者の質の保障と量の確保策」「地域クラブ活動の登録・認証のための基準づくり」のため、検討会議に大学、弁護士・医師・管理栄養士、中小企業診断士、救急救命士、トップスポーツチーム等の委員からなる「プログラム等作成部会」を設置し、指導者育成プログラム、指導者及び地域クラブ活動基準等を検討する。
- ・また、地域クラブ活動を想定したバレーボール、剣道のスポーツ教室を実施する。

取組の成果

- ・プログラム等作成部会において、令和6年7～8月に3回、集中して議論を行い、市原市独自の指導者育成スキームとしてすべてのスポーツ指導者に求められる必要最低限の資質能力に関する科目である「1.ベースプログラム」、各競技のコーチングスタッフとしてのスポーツ指導者に求められる基礎的な資質能力に関する科目である「2.競技別プログラム」を作成した。
- ・モデル事業として、屋内団体競技のバレーボールと同個人競技の剣道について、指導者実習、移行後の地域クラブ活動を想定したスポーツ教室をトップスポーツチームなどの支援を受けながら、市スポーツ協会加盟(競技)団体の主管により実施した。

【ベースプログラム講習会カリキュラム】

時間	内容
9:30～9:50	開講・オリエンテーション
9:50～10:40	・コーチングの理念・哲学 ・コーチングを学ぶ必要性、プレーヤーとともに学び続けるコーチ ・対自分力 ・コーチングの重要性、強いアスリートは心も強いのか？
10:40～10:50	小休憩
10:50～12:00	・対他者力 ・厳しい指導（恐怖による支配）の効果と副作用、コーチングを学ぶ
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～13:40	・スポーツと健康 ・スポーツと栄養 成長期における食事のあり方、安心安全な食事を
13:40～13:50	小休憩
13:50～14:30	・スポーツ医学 ・腰椎分離症、オスグッド、疲労骨折、脳震盪、熱中症、EAP 作成
14:30～14:40	小休憩
14:40～15:20	・救急処置※事前学習あり ・応急手当、心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、止血・固定法
15:20～15:30	小休憩
15:30～16:10	・トレーニング科学 ・予防のためのコンディショニング
16:10～16:30	まとめ・閉講

コーディネーターの具体的な動きの実績

実績無し

今後の課題と対応方針

- ・現状、中学校に設置されている部活動に関する市スポーツ協会加盟団体に対し、モデル事業と同様の取組を実施し、指導者育成及び地域クラブ活動発足を促進する。
- ・今後、市スポーツ協会において、指導者・地域クラブ活動登録バンクの設置、専門家を配置した相談窓口、フォローアップ・バックアップを行う総合的な支援体制を整備し、生徒・保護者はもとより、指導者・地域クラブ活動関係者が安心して活動できる環境を提供する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- 市独自の「指導者育成スキーム」を作成、指導者及び地域クラブ活動の認証基準、総合的な支援体制を構築する。

- ① 指導者の育成・確保
- ② 地域クラブ活動要件の明確化
- ③ 指導者等登録バンクの構築
- ④ 相談窓口の設置
- ⑤ 専門家による支援体制の構築

※ ③～⑤はR7年度に実施

種目

- ①ソフトボール
- ②バレーボール
- ③剣道

資格有無

以下、講習会講師について記載

- ①JSPO公認指導者3級
- ②JSPO公認指導者4級
- ③剣道連盟社会体育指導員

取組の成果

- 市独自の指導者育成スキームとして、「1.ベースプログラム」「2.競技別プログラム」を作成し、指導者講習会を実施した。
- 1については、関係者40人の参加を得た。
- また2の内、屋内団体競技のバレーボールについては指導者28人、生徒55人、同個人競技の剣道については指導者17人、生徒36人の参加を得た。本プログラムについては、R7年度に屋外団体競技のサッカー、同個人競技の陸上をモデル事業として実施し、プログラム等作成部会での検討を経て、指導者及び地域クラブ活動に係る認証登録基準、地域クラブ活動標準運営マニュアル、同創設ガイドを作成し、R8からの休日活動の順次移行に備える。
- 上記「取組事項」における③、④について、R8年度からの導入に先立ち、民間事業者の参画を得るため、サウンディング型市場調査を実施した。
- ⑤についてはプログラム等作成部会にて検討を継続する。

【市原市公式Youtube動画・市民周知用】



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

1. ベースプログラム(日本スポーツ協会公認指導者養成講習 共通科目 I に準拠)
 - ・コーチングの理念・哲学、対自分力、対他者力、スポーツと健康、スポーツと栄養、スポーツ医学、救急処置、トレーニング科学
2. 競技別プログラム(日本スポーツ協会公認指導者養成講習 スタートコーチに準拠)
 - ① 剣道
 - ・指導者講習「中学生指導における指導者のあり方」
 - ・実技指導「基本・応用動作」「日本剣道形による剣道基本技稽古法」
 - ② バレーボール
 - ・指導者講習「指導者の在り方、競技規則と審判法、子供の理解、ウォーミングアップとクールダウン、初心者導入法（キャッチボール・サーブ・スパイク、オーバーハンドパス・アンダーハンドパス）」
 - ・実技指導「ウォーミングアップ、キャッチボール、オーバー・アンダーハンドパス、ディグ、レセプション、ブロック、サーブ、スパイク、クールダウン」

指導者研修の参加実績

1. ベースプログラム 開催日：R6.9.16 開催回数：1回、参加人数：40名
2. 競技別プログラム(剣道)
 - ・開催日：R6.11.16,23,R7.1.19,25,開催回数4回、参加人数17人
3. 競技別プログラム(バレーボール)
 - ・開催日：R6.10.19,10.27,11.24,12.14,12.21,12.22、R7.1.13,開催回数7回、参加人数28人

受講者の声

1. ベースプログラムアンケート結果

実施日：R6.9.16 ※講習会当日

実施方法：講習会終了後に、アンケート用紙を配布し、回答していただいた。

回答数：39名

受講者の声

- ・どの分野も専門の講師の方に講義していただき、指導する際の注意点はもちろんのこと、日常生活でも活かせる知識も多くあり、大変有意義な時間を過ごせた。
- ・今後定期的に開催していただき、講習の機会ごとに新しい知識を得られるように計画してほしい。

2. 競技別プログラムアンケート結果

実施日：バレーボール・剣道の競技別プログラム全日程終了後

実施方法：電子フォーム（LoGoフォーム）にて、回答していただいた。

回答数：24名

受講者の声

- ・子どもを教えていく為に必要な知識、やってはいけないこと等再確認する事が出来たため、その点においては有意義であった。
- ・講習会は全般的に伝えたい事が盛り込まれ良かった。指導は生徒のレベル、性格等により違うので難しい。

今後の課題と対応方針

- ・日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者養成講習を参考に構築したが、総じて時間的負担が大きかった印象。名称も興味ある人以外には敷居が高い。参加者については競技団体関係者が主であり、絶対数を増やすためには、地域への働きかけが別途必要。
- ・一方、生徒たちには時間数が短く地域クラブ活動がイメージされるまでには至らなかった。
- ・対応として、名称、研修時間の見直し、eラーニングを取り入れた複合型講習を検討するほか、認証登録後の補完プログラムとの関係の整理が必要。
- ・指導者の絶対数の確保については、今後開設する総合窓口配置する専門家による地域説明会、募集イベント等の地域への働きかけの実施により対応する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- モデル事業の成果をもとに仕組みを構築し、市スポーツ協会と連携しながら、各加盟(競技)団体においても同様の展開を図り、市内各地域で学校部活動と同様の環境が地域クラブ活動として整備されるよう加盟(競技)団体による連絡調整会議を設置した。
- 各地域との調整については、今後設置予定のコミュニティ・スクール(地域学校協働活動推進員)と連携を図るなどしながら、その地域にふさわしい移行の形を協議する。

取組の成果

- 現に各地域の中学校にある部活動と同様の環境を維持できるようにするための情報と各団体の考え方の共有を図ることができた。
- 今後の導入についても、モデル事業の実施により、イメージを得ることができたことから、令和7年度の取組への参加にむけて前向きな意見が得られた。
- 各地域への導入に関しては、今後設置する相談窓口に配置する専門家(コーディネーター)を中心に進めていくこととした。

バス等の運行実績

実績無し

今後の課題と対応方針

- ベースプログラムや競技別プログラムの実施にあたり、プレスリリースを行った結果、各種メディアに取り上げてもらったため、関係者の理解を得やすかった。一方、種目によって団体主管での運営は困難との声もあった。
- 各地域との調整について、コミュニティ・スクールの地域学校協働活動推進員と連携を図るなどしながら、その地域にふさわしい移行の形を協議する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組





取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

- 市ソフトボール協会主催で、指導者の指導技術講習及び生徒の競技力向上を目指した技術講習会を行った。講師は、千葉県ソフトボール協会理事長（清和大学ソフトボール監督）。サポーターとして清和大学ソフトボール部員にも協力いただいた。
- ソフトボールモデル事業の3クラブの生徒とその指導者、今後、地域指導者を希望する教員が参加した。
- 本講習会は、競技別プログラムの一環として実施した。

活動の詳細

参加人数	36人	指導者数	指導者9人 サポート大学生10名
属性	ソフトボール技術講習会		
具体的な内容	(1) チーム作りや基本技術についての講話 (2) 基礎技術練習 (3) ポジション別練習 (4) 大学生模範守備 (5) 講師講評		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> みんなで活動できてよかった。 いろいろな先生や大学生に教えてもらえてよかった。 また合同練習をしたい。 上手になった気がする。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> 講師からチーム運営や基礎技術やコーチングを学んだ。 多くの先生方と関わってよかった。 他校の生徒と関わることで、子どもたちの良い刺激となったと思う。 		
運営経費	講師報償費：4,800円	 	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

- 関係者からなる検討会議及びプログラム等作成部会において、R6年度実施の各事業に関する振り返りと翌年度に向けての対応について協議した。
- 今後の指導者育成において、どういった志向を対象とする指導者を目指すのかによって講習会の内容を分け、さらに、その情報を登録バンクへ掲載するとともに、専門性を有するコーディネーターを配置した相談窓口でマッチングのための情報として活用することとした。
- これらの検討にあたり、民間事業者の参画を得るためのサウンディング型市場調査を実施した。

PRESS RELEASE
 配信日：2024.11.1



市原市
 ICHIHARA CITY

問合せ先
 ・地方創生部 地方創生課
 TEL 0436-26-6350
 ・教育振興部 指導課
 TEL 0436-23-9849

市原市指導者・地域クラブ活動登録バンク構築に係るサウンディング型市場調査を実施

市では、学校部活動の地域移行に係る指導者、地域クラブ活動に関する諸情報を登録するとともに、運営主体(市スポーツ協会)、実施活動主体(指導者、保護者、参加者)間の情報交換及び共有、利用者間のマッチング等の管理を行うことができる、PC・スマートフォンアプリ形式のシステムを導入することを検討しています。

システム導入とその運用・サポート体制の構築にあたり、地域クラブ活動の運営に適したシステム機能、導入価格、運用・サポート体制及びその他課題等導入に向けた必要事項を把握するため、民間事業者から幅広く意見・提案等を募るサウンディング型市場調査を実施します。

1 事業者の募集について

11月1日(金)から、市ウェブサイトにて「市原市指導者・地域クラブ活動登録バンク構築に係るサウンディング型市場調査」を公表し、参加希望者を募集します。
<https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=66f240148d9eb90cd6066346>



2 実施スケジュール

実施年	実施期間	実施内容
令和6年	11月1日(金)	実施要領公表
	11月1日(金) ~ 11月8日(金)	参加申込期間
	11月18日(月) ~ 11月22日(金)	サウンディング型市場調査の実施
令和7年以降	12月6日(金)	実施結果公表
		システム導入

3 問合せ先

▼サウンディング型市場調査及びその他(地域クラブ活動等)の取組について
 地方創生部 地方創生課 TEL：0436-26-6350
 ▼学校部活動への取組について
 教育振興部 指導課 TEL：0436-23-9849
 ▼最新の情報は市ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=66601a421c88c9585190011c>



PRESS RELEASE
 配信日：2025.1.17



市原市
 ICHIHARA CITY

問合せ先
 ・地方創生部 地方創生課
 TEL 0436-26-6350
 ・教育振興部 指導課
 TEL 0436-23-9849

市原市部活動の地域移行に係る総合的な支援体制業務委託のサウンディング型市場調査を実施

市では、学校部活動の地域移行への取組において課題となる「指導者の絶対数の不足」、「地域クラブ活動の要件の明確化」、「担い手となる指導者や受け皿となる地域クラブの不安解消の仕組みの必要性」に対応するため、地域移行に向けて必要な一連のサービス[※]を提供する「総合的な支援体制」の整備を検討しています。

令和7年度に予定している「総合的な支援体制」の公募にあたり、参加意欲のある事業者との対話を通じて公募条件を整理するため、サウンディング型市場調査(以下「サウンディング」)を実施します。

※ 指導者育成・地域クラブ創設に向けた支援、指導者・地域クラブ活動登録バンクの管理、関係者間のマッチングのほか、各種相談に応じるための窓口の設置、フォローアップ・バックアップ支援(法律、スポーツ医科学、クラブ運営等のアドバイス)など

1 事業者の募集について

1月17日(金)から、市ウェブサイトにて要領を公表し、1月20日(月)から参加希望者を募集します。
<https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=675d1a94f0e8b0ba3f7fae9>



2 実施スケジュール

実施年	実施期間	実施内容
令和7年	1月17日(金)	実施要領公表
	1月20日(月) ~ 1月31日(金)	参加申込期間
	2月7日(金) ~ 2月14日(金)	サウンディングの実施
令和8年	2月28日(金)	実施結果公表
	4月	導入予定

3 問合せ先

▼サウンディング型市場調査及びその他(地域クラブ活動等)の取組について
 地方創生部 地方創生課 TEL：0436-26-6350
 ▼学校部活動への取組について
 教育振興部 指導課 TEL：0436-23-9849
 ▼最新の情報は市ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=66601a421c88c9585190011c>



今後の課題と対応方針

- 日本スポーツ協会の公認指導者養成講習を参考に構築したが、総じて時間的負担が大きく、名称も興味ある人以外には敷居が高かった。また参加者は競技団体関係者が主であり、絶対数を増やすため地域への働きかけが別途必要である。生徒たちには時間数が短く地域クラブ活動をイメージするまでには至らなかった。
- 対応として、指導者講習会については、eラーニングを併用し、指導者を希望する方の負担感を減らしつつ、いつでもどこでも好きなタイミングで学んでいただける環境を整備する。

- また、オンラインで理論を学び、対面で実技を実践することで、知識とスキルの両方を効果的に習得できるブレンディッドラーニング方式での実施を検討する。
- さらに、生徒たちには地域クラブ活動への移行をより意識してもらうため、加盟(競技)団体の協力により、通年型のスポーツ教室を開催し、気軽に多種目・多志向な体験を得ることができるよう、また指導を希望する方々にとっても、各スポーツ教室において、通年で実習指導講習が受講できるような環境を確保することとする。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 「指導者の絶対数の不足」「地域クラブ活動の要件の明確化」「担い手となる指導者や受け皿となる地域クラブの不安解消の仕組みの必要性」を当面の課題として、
 - ①指導者の育成・確保
 - ②地域クラブ活動要件の明確化
 - ③指導者、地域クラブ活動登録バンクの構築
 - ④専門家を配置した相談窓口の設置
 - ⑤専門家による支援体制の構築に取り組むものとした。
- ①については、専門家からなるプログラム等作成部会により検討を行い、市独自のスキームを作成することができた。内容の振り返りを行い、令和7年度も引き続きモデル事業を実施する。
- ②については、要件整理の検討を行うまでにとどまった。
- ③及び④については、民間事業者の参画を得るべくサウンディング型市場調査を実施し、R7年度の業務委託契約に向けた仕様の確認、要件整理を実施した。
- 残る⑤については、令和6年度の各種事業や検討を踏まえ、生徒、保護者、指導者、地域クラブ活動の関係者が安心、安全に活動できるような仕組みと体制について、前述の指導者・地域クラブ活動登録バンク、専門家を配置した相談窓口と合わせて協議していく。

●成果の評価

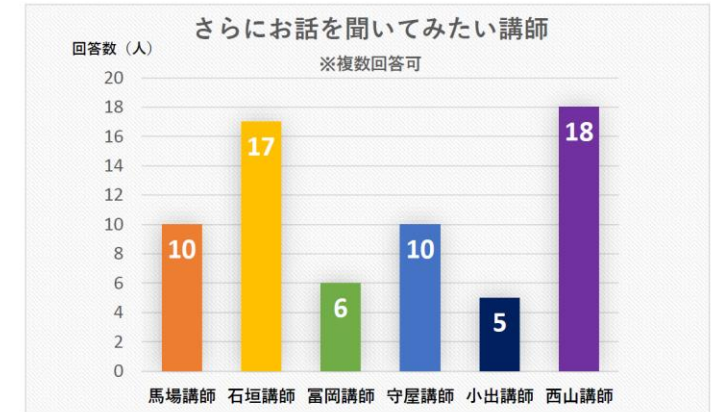
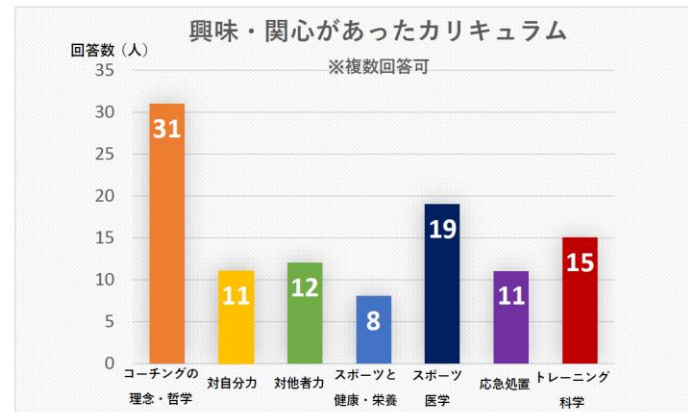
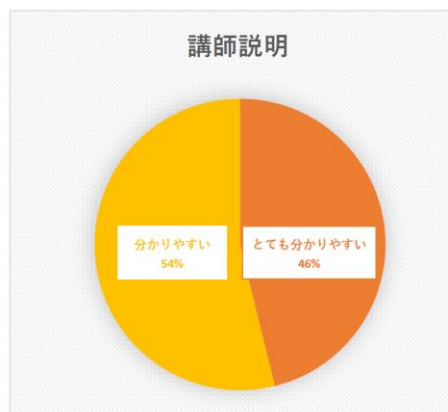
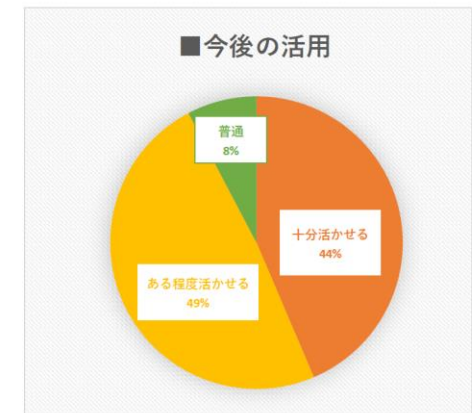
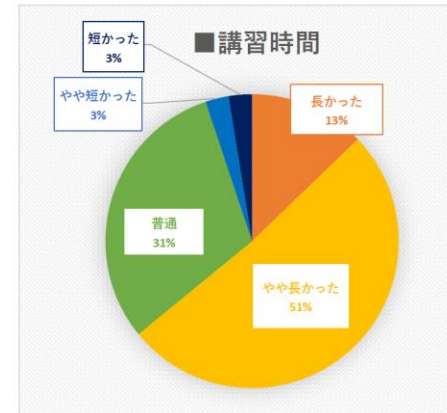
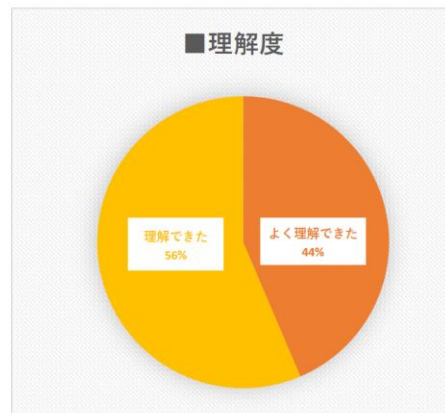
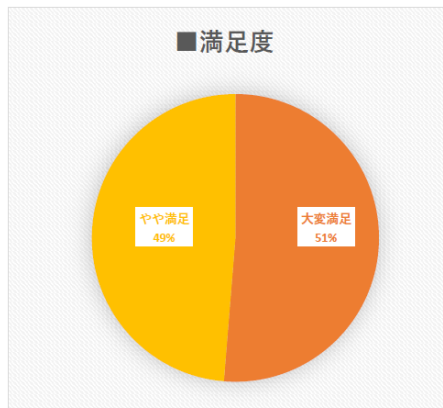
1. 左記の課題に対応するために開催した会議等について
 - ① 検討会議 3回開催
 - ② プログラム等作成部会 4回開催
2. 指導者講習会について
 - ① ベースプログラム講習会 1回開催 参加者40名
 - ② 競技別プログラム講習会(剣道) 4回開催 参加者：指導者18人 生徒37人
 - ③ 競技別プログラム講習会(バレーボール) 7回開催 参加者：指導者23人 生徒65人
 - ④ ソフトボール技術講習会 1回開催 参加者：指導者9人 生徒36人
3. サウンディング型市場調査の実施について
 - ① 指導者・地域クラブ活動登録バンク 参加事業者2社 対話内容：仕様、事業費
 - ② 総合的な支援体制 参加事業者2社 対話内容：業務内容、運営体制、委託料

●今後に向けて

- 本市におけるメインの取組である学校部活動の地域での受け皿を早急に整備することを最優先とし、単一種目を最低条件としてスタートすることを前提としつつ、この取組が単に学校部活動の地域での受け皿としてのみならず、将来的な総合型地域スポーツクラブへ発展、円滑な移行につながるよう、登録認証制度を参考に構築するものとする。
- 地域クラブ活動の設置にあたっては、様々なモデルケースの作成による検討材料の提供に加え、「各関係者との調整」「活動拠点の確保」「収支バランスの取れた経営計画・事業計画の策定」などについて適切なアドバイスを行う専門家を配置した相談窓口がサポートするものとする。
- さらに、各地域との調整については、今後設置予定のコミュニティ・スクールの地域学校協働活動推進員(コーディネーター)と連携を図りながら、その地域にふさわしい移行の形を協議するものとする。

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（ベースプログラム：回答数39名）



アンケート結果・参加者の声

●参加者の声（ベースプログラム）

○各講師への感想・意見・質問など

■馬場講師

- ・地域移行の概要として、馬場講師の講習時間もあってよかった。
- ・今後スポーツとどのように関わっていけばいいか、もっと話を聞いてみたい。
- ・地域移行に対する熱い思いをお聞きすることができ、移行に希望が持てる。

■石垣講師

- ・以前は厳しく指導されるのが当たり前だったが、現代それはダメだということはわかっていたものの具体的にどうすればいいのかがイメージがわからなかった。講習会を受けたことによって具体的なコミュニケーション方法や注意点など大変勉強になった。
- ・選手と指導者との関わり方についてさらに詳しく知りたい。
- ・指導者の責任と義務はどこまで求められるのか。
- ・コーチングの理念・哲学について、今日参加していない指導者メンバーに考え方を理解してもらうには、どのような方法が有効か。
- ・時には叱らなければいけない状況もあると思うが、その場合に気を付けなければいけないことは何か。

■富岡講師

- ・スポーツと食事の結びつきが重要なことが分かった。
- ・体作りのために食トレは必要か。また食事の摂取方法について知りたい。
- ・部活やクラブ活動が忙しい時期だと、朝食や昼食を抜きがちになるので、食べさせる工夫があれば教えてほしい。

■守屋講師

- ・中学生に多いスポーツ障害について、正しい知識を持って指導対応に役立てたい。
- ・成長痛でくっっていた小中学生の足や膝の痛みについて、説明してもらい興味が湧いた。
- ・スポーツ障害が起きてしまったとき、状態をどのように判断したらいいのか。練習への参加可否は指導者が判断していいのか。

■小出講師

- ・応急処置について年1回は講習を受ける必要性を感じた。
- ・応急処置の学ぶことのできる講習会を詳しく紹介してほしい。
- ・事前学習があったので、実技を多めにしても良かったと思う。

■西山講師

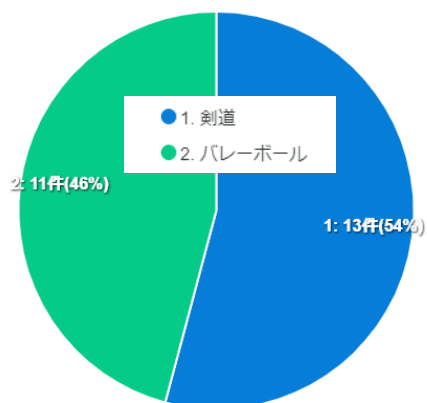
- ・成長期に合わせた身体作り・ウォームアップ・クールダウンが重要だとわかった。
- ・競技別に必要なストレッチ方法を知りたい。
- ・活動時間に制限がある中でのウォームアップ・クールダウンのメニューを教えてください。

2.実証内容と成果②

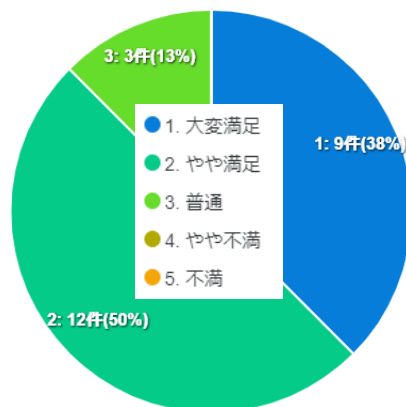
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（競技別プログラム：回答数24名）

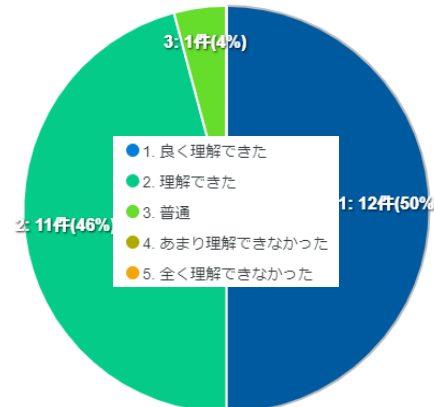
参加種目



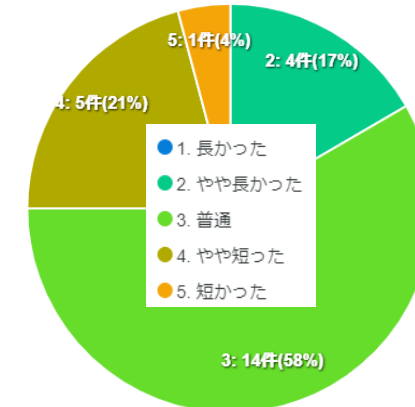
満足度



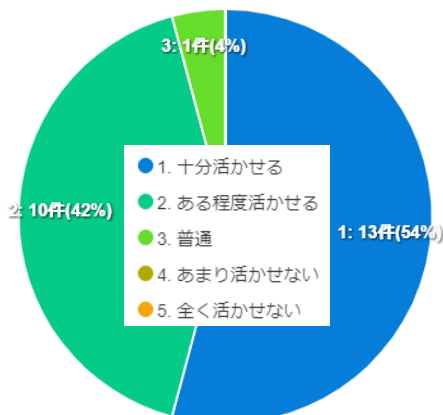
理解度



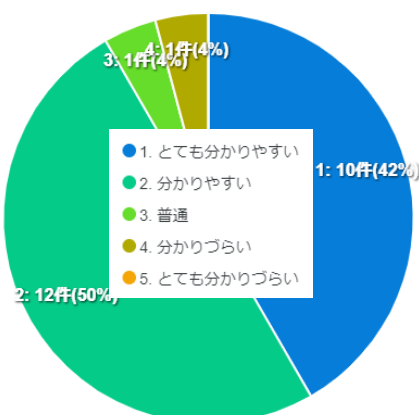
講習時間



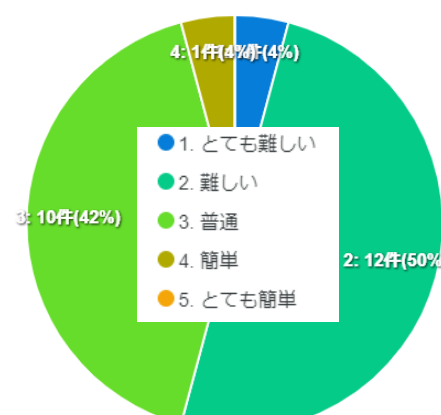
今後の活用



講師説明



子どもへの指導



アンケート結果・参加者の声

●参加者の声（競技別プログラム）

○興味・関心があった、講習内容とその理由

■ 剣道

・セクハラ、パワハラに関しては明文化されたものを説明していただいたので、誤解や勝手な解釈が少なくなると感じた。

・パワハラの前段階に当たる部分について「約束」を破ることについてなぜ守れないのか問いただすことは不適切、との資料があったが、この場合、部活を指導するとなり「チームとして目標を定める、ルールを定める」こととなった場合に、ルールを守れない、特に本人が目標等決めたことを守れないとなった場合に中学校でどのような指導を具体的にされているのか知りたいと感じた。

・剣道の技量だけでなく、礼に始まり礼に終ると言った、日本古来の武道の精神に重点をおいた指導を心掛けたいと常に思っている。もちろん、竹刀競技としてのスポーツの側面もあるので、その点について、今回の講習会は大変有意義なものでした。但し、礼儀、挨拶、気遣い、目配り、思いやりを持つ事の大切さにより重点を置いて指導したいと考えている。

・「中学生指導上における指導者の在り方」について、「マルチリートメント（避けるべき子育て）」など、改めて理解と認識を深めることができ、今後の指導に活かしてゆきたい。

■ バレーボール

・ストレッチの方法、アンダーやオーバーの体の使い方、待機中の時間の使い方など。ストレッチもパスも、ただするのではなく、ただ待っているのではなく、何を目的としておこなっているのか、次に自分は何をするのか考えて練習する事が大切だと改めて感じた。

・限られた時間で毎日一通りの練習内容をやるのは困難なため、効率を良くする工夫に興味を持った。手持ち無沙汰になる時間が少なくなればスキルや集中力の向上に効果的だと気づきがあった。

・ストレッチやアップの段階から体が温かくなりとてもためになった。

・競技別プログラムの座学講義は全てが非常に参考になり、今後指導者となった際には忘れず活かしていきたいと思う。

・バレーボールの技術面だけではなく、メンタル面の指導がとても参考になった。

広報資料

HOME > 文化・スポーツ・生涯学習 > スポーツ > 取り組み > 運動部活動の地域移行について



● 取り組み 2024/08/30

運動部活動の地域移行について

👁️ 2240 views

▼1 部活動の地域移行とは?

- ▼概要
- ▼背景
- ▼2. 市原市の取組について
 - ▼令和4年度
 - ▼令和5年度
 - ▼令和6~7年度※予定
- ▼3 これまでの経過
- ▼4 部活動の地域移行に関するよくあるお問い合わせ

1 部活動の地域移行とは?

概要

「部活動の地域移行」とは、これまで中学校・高校の教員が担ってきた部活動の指導を、地域のクラブ・団体などに担ってもらうことで地域の活動に位置づけることを指します。具体的には、スポーツ庁と文化庁が2022年12月に策定したガイドライン「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、まずは2023年度から3年間を改革推進期間として、「公立中学校」の「休日」の「運動部」の部活動を優先し、地域の実情に応じて可能な限り早期に実現することを旨とするものとされています。


背景

日本では深刻な少子化問題を抱えており、スポーツ・文化の環境においても影響を及ぼしています。少子化により、従来の学校単位での部活動では、子どもたちのスポーツや文化に親しむ機会を確保していくことが、今後さらに困難になってくると言われています。また、学校の部活動は、学校教育の一環として、必ずしも教員が担う必要のない業務でありながら、教員の身体的な支えにより実現してきました。しかし、近年は教員の多忙化が大きな社会問題となっています。特に中学校では、本来は休日であるはずの土日曜日に教員が部活動を指導していることが長時間勤務の大きな要因の一つとなっています。このような背景から、国は休日の中学校の部活動を段階的に、地域連携や地域クラブへ移行していく方針を示しました。

【市ウェブサイト：運動部活動の地域移行について】

[市ウェブサイトリンク](#)

バレーボールの スポーツ教室を開催！



参加費無料！
初心者大歓迎！

会場・日時

第1回：南総中学校 所在：市原市安久谷 1 4 0
10/27 (日)、11/24 (日)

第2回：国分寺台西中学校 所在：市原市国分寺台中央 5 丁目 1 - 1
12/14 (土)、12/21 (土)

第3回：姉崎東中学校 所在：市原市姉崎 3 0 5 6 - 1
12/22 (日)、1/13 (月・祝)


教室内容

1 日目：キャッチボール、オーバー・アンダーハンドパス、ディグ、レセプション、ブロック、サーブ、スパイク
2 日目：1 日目の復習、フォーメーション確認、ゲーム

申込方法

市ウェブサイトの応募フォームから申し込む
申込期間 : 令和 6 年 1 0 月 7 日 (月) ~ 各会場の開催日 1 日目の 5 日前まで
対象・人数 : 市内在住中学生 各回 3 2 名 ※各会場 2 日間のコースとなります

主催 : 市原市 **協力** : 市原市バレーボール協会
問合せ先 : 市原市役所 地方創生部 地方創生課 TEL:0436-26-6350



【バレーボール教室 周知用リーフレット】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ベースプログラムに関する講習会の様子】



【競技別プログラム（剣道競技）に関する講習会の様子】



【競技別プログラム（バレーボール競技）に関する講習会の様子】



【モデル事業（ソフトボールクラブ）の様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

検討会議設置、検討開始
アンケート調査、ヒアリングの実施

先進事例調査
モデル事業の実施
方針及び進捗管理、事業計画を検討

令和6年

検討会議の継続
部会の設置、検討開始

市独自の指導者育成スキームの構築
モデル事業の実施

令和7年

地域クラブ活動の要件整理、認証登録制度、総合的な支援体制の構築

令和8年

休日活動の順次移行

●ステークホルダー(検討会議)

- 学識、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブスポーツ推進委員、中学校長会、小中学校体育連盟、保護者、行政

●経過

- 以下について5回の会議を開催
 - ① モデル事業(案)の実施と検証
 - ② 次への展開に向けての情報収集等
 - ③ 課題及び対応、次期取組の検討
 - ④ R5年度モデル事業の進捗状況
 - ⑤ R6～7年度事業の検討
- プログラム等作成部会(以下部会)設置

●実施にあたって生じた課題

- 特になし

●実施内容、工夫した点等

- 多方面からの検討を可能にするため、様々な分野・立場の関係者を選出
- さらに検討会議の会長には、別途推進アドバイザーをお務めいただくこととした。

●ステークホルダー(部会)

- 学識、スポーツ協会、小中学校体育連盟、大学、弁護士・医師・管理栄養士、救急救命士、市スポーツ協会加盟団体、トップスポーツチーム

●経過

- 部会において、市原市独自の指導者育成スキームを作成した。

●実施にあたって生じた課題

- 日本スポーツ協会の公認指導者養成講習に準拠したプログラムの作成をめざしたが、受講時間等について負担感なくまとめることに困難を要した。

●実施内容、工夫した点等

- 部会員の積極的な協力もあり、他に誇れる独自のプログラムが作成できた。課題としていた受講時間については、eラーニングの導入や指導者登録後に補完プログラムを受講いただくこととした。

●ステークホルダー

- 検討会議、部会、市スポーツ協会加盟団体、地域(地域学校協働活動等)

●経過

- 現に学校部活動のある12種目の市スポーツ協会加盟団体において、R5～7年度実施のモデル事業を参考に、地域クラブ活動として整備されるよう加盟(競技)団体による連絡調整会議にて協議検討する。

●実施にあたって生じた課題

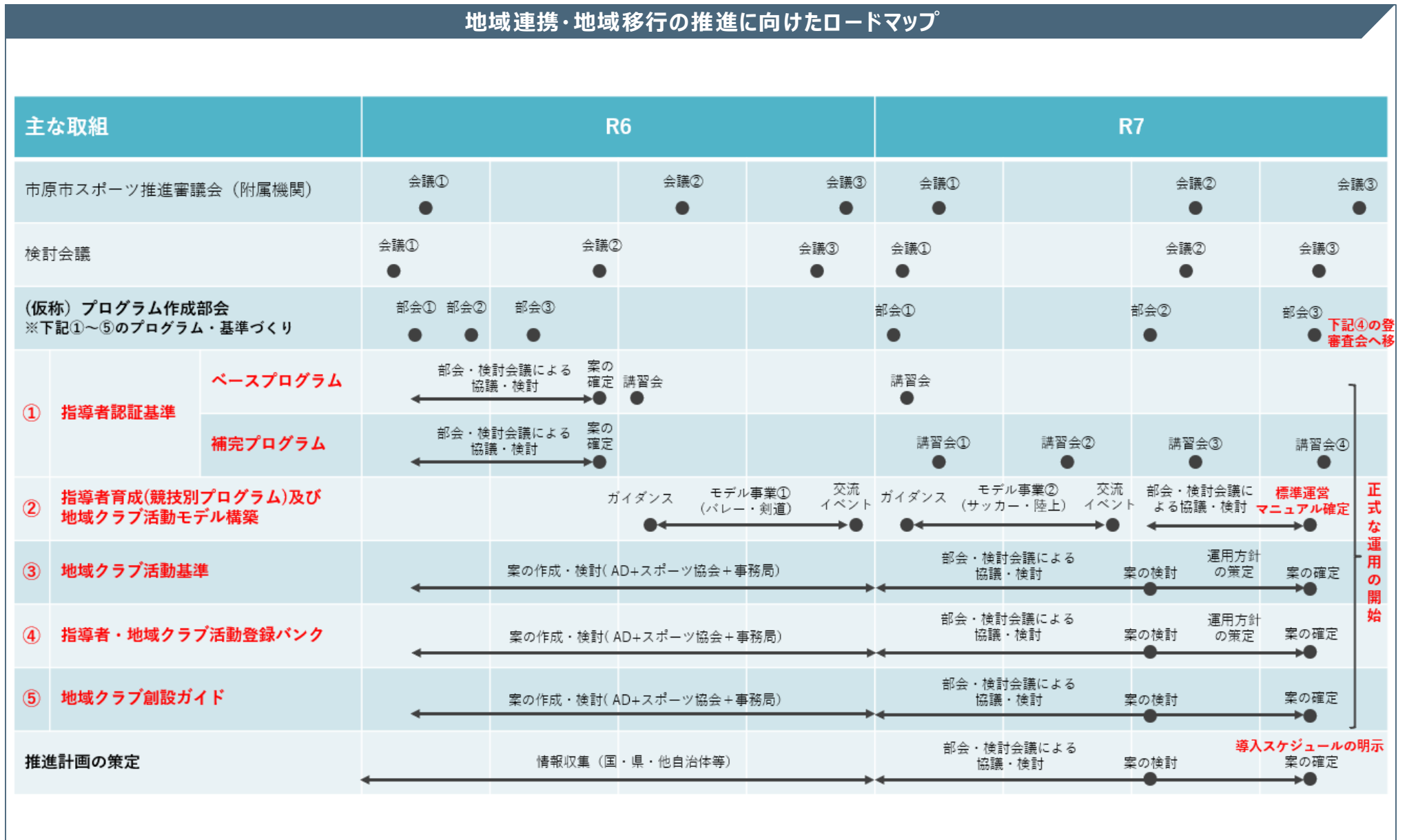
- すべての加盟団体が同様の組織力ではなく、指導者講習会などを主管で実施することが困難な団体もある。

●実施内容、工夫した点等

- 総合的な支援体制の枠組みを活用し、子どもたちの多種目、多志向な需要に応えられるよう、市及び市スポーツ協会が連携して取り組むこととする。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 流山市

自治体名：千葉県流山市

担当課名：指導課

電話番号：04-7150-6105

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	35.28 km ²
人口	213,260人
公立中学校数	10校
公立中学校生徒数	5,287人
部活動数	158部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在流山市内には、10中学校に約160の部活動があり、約4,500人（8割以上）の生徒が活動に参加している。本市中学校の部活動については、生徒が楽しみにしている活動であり、各学校において顧問の指導の下、盛んに活動しており、優秀な成績を収める生徒もいる。

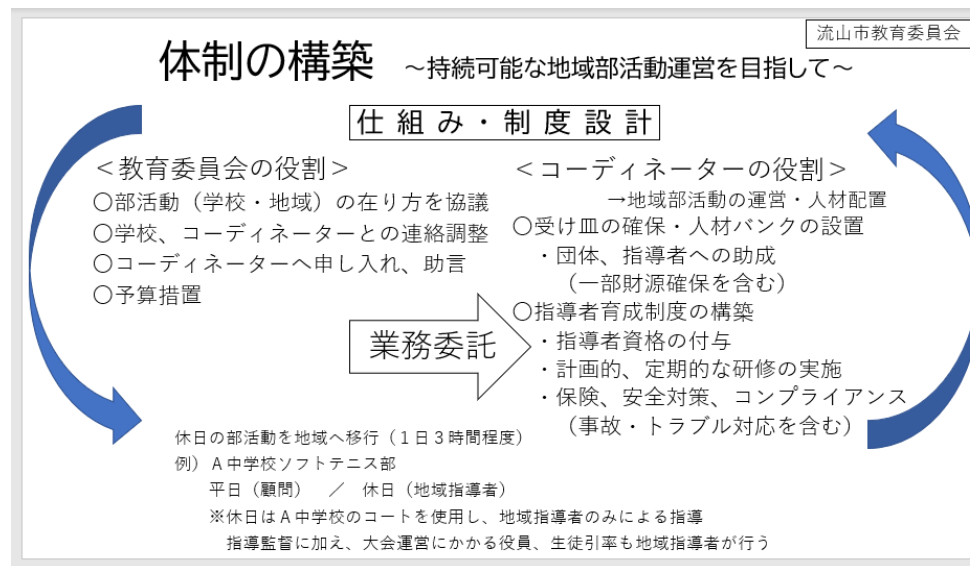
一方で、部活動指導については、教員の負担となっており、部活動指導に関する業務を軽減させ、生徒と向き合う時間を確保していくことは、喫緊の課題である。

本市では、部活動指導を支援する取組として、

令和元年度より部活動支援事業を展開しており、令和6年度は全10中学校各校の4部活動に外部指導員を配置した。

しかし、市内全部活動を支援できておらず、外部指導員の配置時間も限られている。

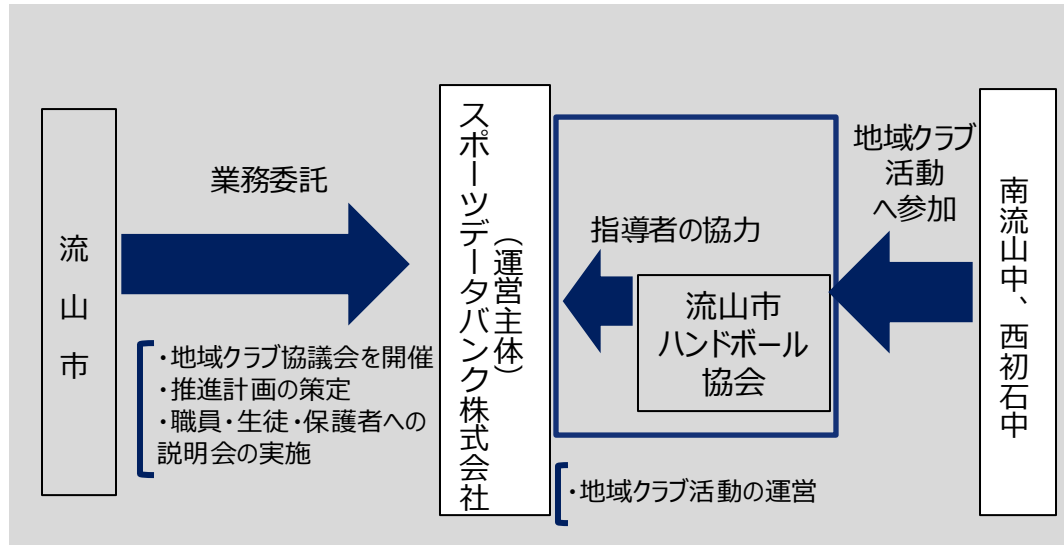
今後、事業を拡大し、市内全部活動を市の財政で継続的に支援し続けることは不可能である。そこで、部活動を学校から切り離し、子どもたちが専門的な指導を受け、より充実した活動とするために、地域の活動としていくことが必要であると考える。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（指導課）

運営の委託、部活動の在り方の協議、予算措置、学校や関係機関との連絡・調整

◎首長部局（秘書広報課）

地域への広報、政策推進

年間の事業スケジュール

令和6年4月	公募型プロポーザル審査会
令和6年5月	再々々委託契約、ハンドボールクラブ活動開始
令和6年6月	地域連携外部指導員の配置
令和6年7月	地域移行に向けたアンケート調査（職員、生徒、保護者）実施、第1回地域クラブ協議会
令和6年9月	新規地域クラブ設立に向けた準備
令和6年10月	地域クラブ活動向け学校説明会
令和6年11月	バレーボールクラブ、卓球クラブ活動開始、第2回地域クラブ協議会
令和6年2月	外部指導員配置及び地域クラブ活動のアンケート調査・集計・分析
令和6年3月	第3回地域クラブ協議会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	10校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	5人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
南流山ハンドボールクラブ	民間スポーツ事業者運営型	ハンドボール	月4回／週1回	9:00～11:00	3年15名 2年15名 1年17名	4月～3月	南流山中学校グラウンド	5人	5人 (内、兼務5人)	月会費なし／年会費800円（保険料）	中体連主催、その他ともに部活動
西初石バレーボールクラブ	民間スポーツ事業者運営型	バレーボール	月4回／週1回	8:30～10:30	2年10名 1年12名	11月～3月	西初石中学校体育館	2人	2人 (内、兼務1人)	月会費なし／年会費800円（保険料）	中体連主催、その他ともに部活動
西初石卓球クラブ	民間スポーツ事業者運営型	卓球	月4回／週1回	8:30～10:30	2年8名 1年6名	11月～3月	西初石中学校格技場	2人	2人 (内、兼務1人)	月会費なし／年会費800円（保険料）	中体連主催、その他ともに部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

特になし

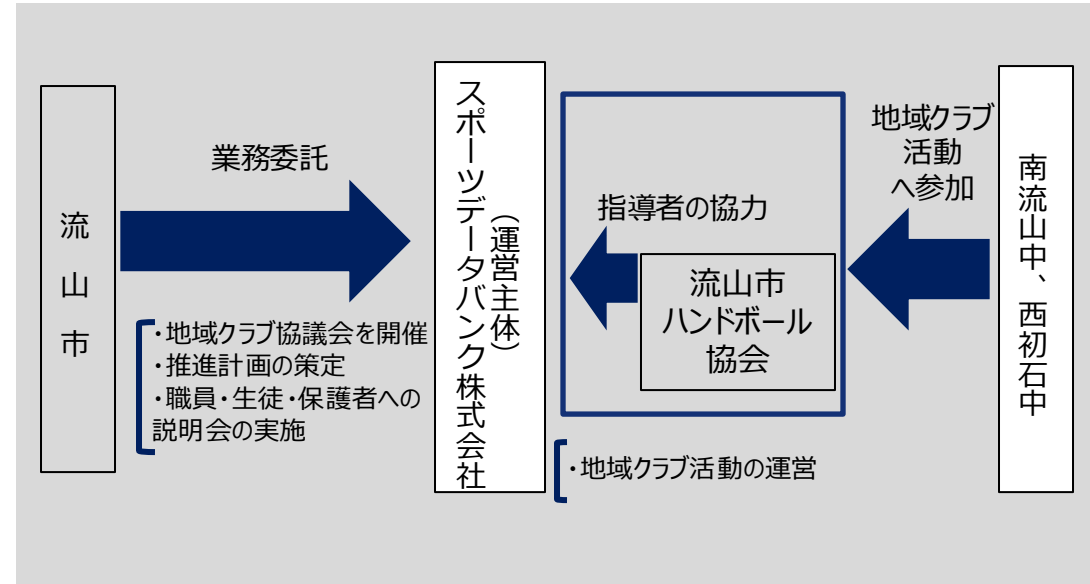
2.実証内容と成果

主な取組例

●各クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ハンドボール、バレーボール、卓球
運営団体名	スポーツデータバンク株式会社
期間と日数	ハンドボール：4月1日～3月31日 月4回程度 バレーボール、卓球：11月23日～3月31日、月4回程度
指導者の主な属性	流山市ハンドボール協会、スポーツデータバンク登録者
活動場所	ハンドボール：南流山中学校 バレーボール、卓球：西初石中学校
主な移動手段	自転車、徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	無し
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う
- 主任指導者 1名
役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う
- 運営補助者 4名
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

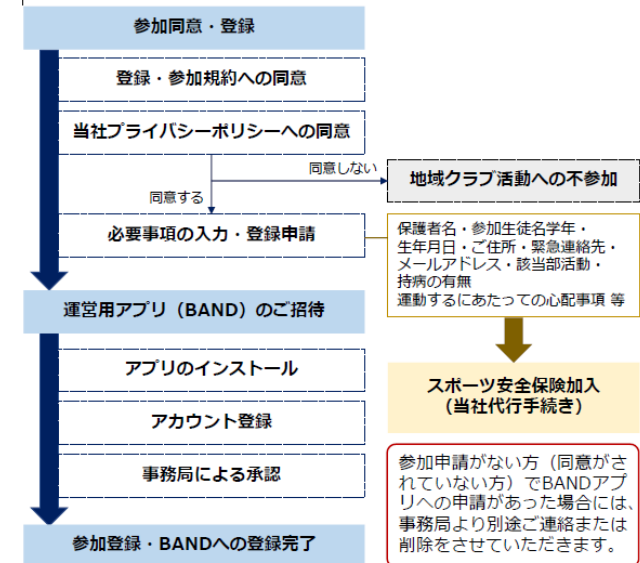
取組事項

- ・広域的な活動を行う総括コーディネーター等を配置し、関係団体・市区町村等との連絡調整・指導助言等を行った。
- ・エリアごとにコーディネーターを配置し、運営団体・実施主体と中学校の連絡調整等を行った。
- ・運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行った。

取組の成果

・ICTを活用した地域部活動の管理
 地域クラブ活動は、学校管理外活動として主体運営者が、地域のスポーツスクール・教室と同様に実施日の設置、出欠確認、緊急対応、その他各種連絡への対応が必要である。これまで実施してきた地域部活動の運営では、ICTツールを活用した運営・管理を行っており、本モデル事業においても同様の手法を用いている。

●参加登録から運営アプリ登録までの流れ



スポーツデータバンク株式会社

コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

- ・学校訪問を実施し、指導者とのマッチング及び面談を行った。
- ・協議会の資料作成や調整等を実施し、関係団体との連携に努めた
- ・指導者の配置時間の管理や研修会の連絡調整を実施

今後の課題と対応方針

本市では、国県の方針に則り、できる限り多くの部活動を地域に移行していく予定である。そのために、民間企業と連携しながら持続可能な地域クラブ活動の体制構築を図っていく必要がある。令和7年度は、地域移行のモデル事業として、市内の既存 4～5 部活動を地域クラブとして移行することを目指す。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・体育・スポーツ協会、競技団体、大学、企業等と連携し、指導者を確保した。
- ・アスリートを活用し、指導者としての役割を担ってもらった。
- ・指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進した。

人材バンクの人数

約61名

登録者の所在地

流山市内 21名
 近隣地域 8名
 その他 32名

登録者属性

職業等は未確認

人材バンクを知った理由

- ・WEBサイト
- ・市ホームページ
- ・知人の紹介
- ・市議会

種目

- ・野球
- ・サッカー
- ・バスケットボール
- ・バレーボール
- ・テニス
- ・空手
- ・ラグビー
- ・ゴルフ
- ・体操
- ・ダンス
- ・卓球
- ・柔道
- ・剣道
- ・バドミントン
- ・水泳
- ・吹奏楽
- ・陸上
- ・総合文化
- ・ハンドボール

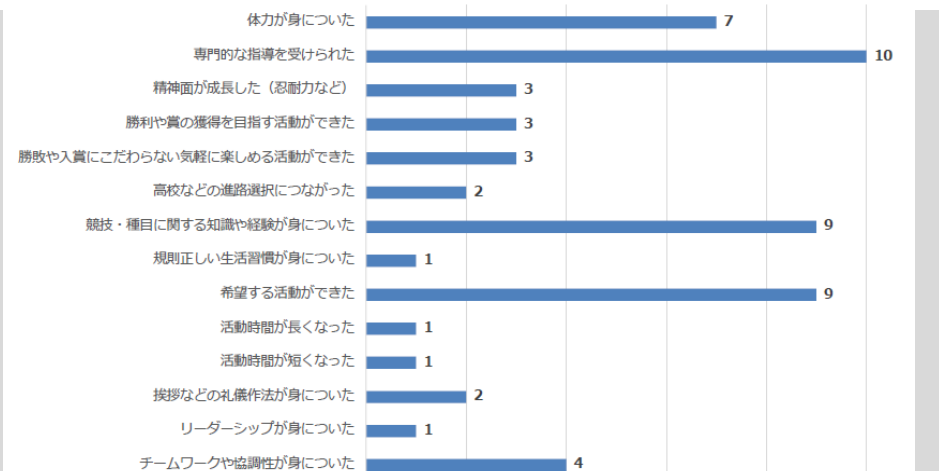
資格有無

- ・サッカーC級ライセンス
- ・陸上JAAF公認ジュニアコーチ
- ・中高音楽科教員免許
- ・ハンドボール公認審判員C級
- ・日本ソフトテニス連盟技術等級1級
- ・日本サッカー協会公認キッズリーダー

取組の成果

平日の部活動の指導に外部指導員として携わっている指導者が休日の地域クラブ活動の指導も実施しているため、生徒にとっては、部活動と地域クラブ活動の指導の相違等による混乱がなく、安心して活動ができた。

クラブに所属する生徒を対象としたアンケートより、「土日はより専門的なことが聞けるからモチベーションがあがる」「指導のおかげで、県大会で一勝することができた。さらに勝ちたい。」と前向きな意見が多々あった。



スポーツデータバンク株式会社

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

- ・指導者への基礎研修や専門研修のほか、スポーツトレーナーによる最新のストレッチやトレーニングセミナー等を実施することにより、生徒が自主的に実施できるような意識づけを行った。

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 6月4日、2月5日、3月中旬（予定）
- ・開催回数： 3回
- ・参加人数： 計60人程度
- ・内容
 - 6月…柔道安全指導講習会
 - 2月…目標設定とジュニア期の運動の重要性
 - 3月…地域連携指導者への年間のまとめと次年度の取組

受講者の声

- ・安全な指導の仕方、技を使っているという実感を持てる取り組みとなった。
- ・基本的な動作をユーモアを交えながら、楽しく学ぶことができた。
- ・生徒と楽しみながら体の使い方を学ぶことができる内容だった。
- ・ゲーム性を取り入れながら楽しんで学ぶことができた。
- ・段階を踏んで初心者でも取り組みやすい内容を知れた。
- ・審判員等を外部の協会などに協力してもらえたらありがたい。
- ・未経験の種目の指導の仕方を学びたい。
- ・体が小さい選手のキック力を高めるための筋力トレーニング法を知りたい。

今後の課題と対応方針

- ・指導者の質の保証・量の確保のためにコーディネーター業務を充実させ、市内全体の受け皿の確保と受け入れ先への助成、指導者の配置等を行う。
- ・併せて、指導者育成制度の構築として、指導者資格の付与や研修の実施、コンプライアンスの推進、保険や安全対策等の制度づくりを行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・指導者の配置、民間施設の利用、研修教材の提供・講師派遣などについて連携を図った。

取組の成果

- ・スポーツ協会や文化協会、近隣の江戸川大学等とは、地域クラブ活動協議会を通して、現状や成果と課題について、情報共有をするとともに、指導者講習会の講師を依頼するなど指導員の人材協力等、連携を図っている。
- ・江戸川大学主催のバスケットボールクリニックには、市内中学生役100名が参加し、大学生から専門的な指導を受けるなど、大変好評であった。

～ 専門家から学べる ～

指導者のための 目標設定と ジュニア期の 運動の重要性

参加費 無料

こんなお悩みにアプローチ！

- チームや選手がより主体的に成長できる目標設定をしたい！
- ジュニア期の運動の効果について理解を深めたい
- 日頃の指導の悩みを共有し、指導者同士の交流を深めたい。

セミナー内容

- ・目標設定の方法（守屋）
- ・子供が体を動かすことの重要性（大森）

開催場所

江戸川大学（詳細は申込後ご案内）
※希望者には後日録画を配信

日時

2/5（水） 18:00 - 20:00

募集人数

先着30名（定員満了次第終了）

主催 流山市教育委員会
運営 スポーツデータバンク株式会社

バス等の運行実績

・特になし

今後の課題と対応方針

- ・現在は、民間事業者が抱える人材バンクに登録する指導者が中心となって地域クラブ活動での指導を行っている。
- ・今後は、地域クラブ活動協議会委員の所属するスポーツ協会や文化協会、まあ、総合型地域スポーツクラブとの連携も密にしながら、受け皿の確保をさらに充実させたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



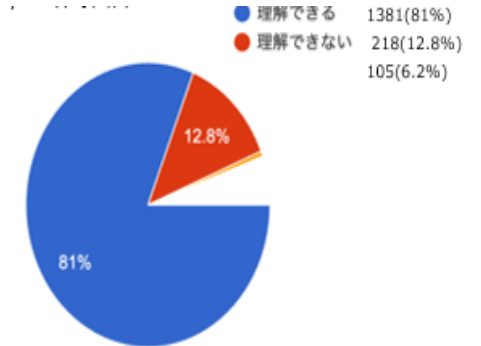
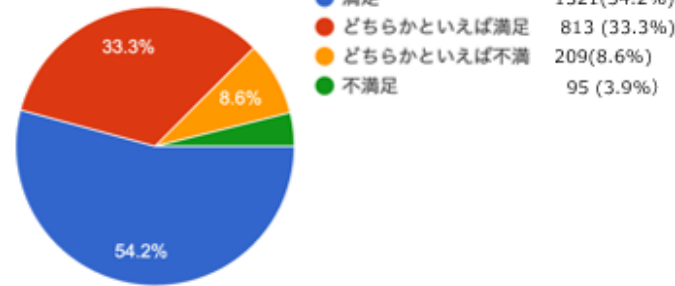
取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組の成果

【生徒向けのアンケート実施】

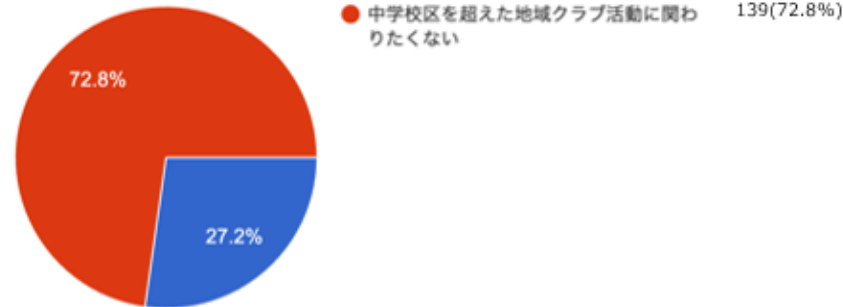
○外部指導者配置時（地域連携）の活動の満足度
 →2438件中、約90%が前向きな回答



【保護者向けのアンケート実施】

○受益者負担についての理解度
 →1,704件中、約80%が「理解できる」と回答

73件の回答



【教職員向けのアンケート実施】

○兼職兼業についての希望
 →兼職兼業を希望する73件中、約30%が「市内他地域でも指導したい」と回答

今後の課題と対応方針

○指導者の選考基準について

指導者への不満な声も一部で出るなど課題が生じているため、一定の選考基準を示す必要性が出てきている。

○兼職兼業制度について

休日の指導を望む教職員への受け皿として整備していく。

○受益者負担について

運営管理費や指導者への報酬額等、地域クラブにかかる費用の負担や支援範囲について、コーディネーターのノウハウを受けながら、受益者負担や企業版ふるさと納税等を用いた確保に努めていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

【実証モデル地域クラブの拡大】

- 学校への定期的なヒアリングを通して、顧問や生徒のニーズに合った2つのクラブを開設した。

【活動中に生徒の眼鏡が破損する事故発生】

- ハンドボールクラブの活動中に、生徒同士の接触により、1名の生徒の眼鏡が破損した。
- 運営ルールの改善と周知
指導者に対する運営ルールの周知徹底を行い、今後の事故対応の迅速化を目指している。

○保険適用範囲の把握と説明

指導者へ保険適用範囲を正確に把握してもらうための研修や説明会を実施した。

【教職員の兼職兼業】

- 今年度の新規地域クラブに合わせて、指導を希望する教職員の兼職兼業開始に向けて準備していたが、課題等の整理が間に合わず、実施がかなわなかった。

●成果の評価

【地域クラブの拡大・発展】

- 令和5年度設立の1クラブに加え、計4～5クラブの設立を当初の目標としていたが、計3クラブにとどまった。実証モデルクラブを従来の1クラブから拡大することができたが、今後のさらなる拡大・発展に向けて、民間事業所や統括コーディネーターとの密な連携及び指導者の確保が必要であると感じた。

【運営に関する意見・要望の収集】

- 運営面に関するアンケートを通じ、保護者や関係者から意見や要望を収集し、地域クラブ運営の改善に役立てることができた。

●今後に向けて

【地域クラブの質向上に向けた補助】

○クラブコンセプト・指導方針の周知

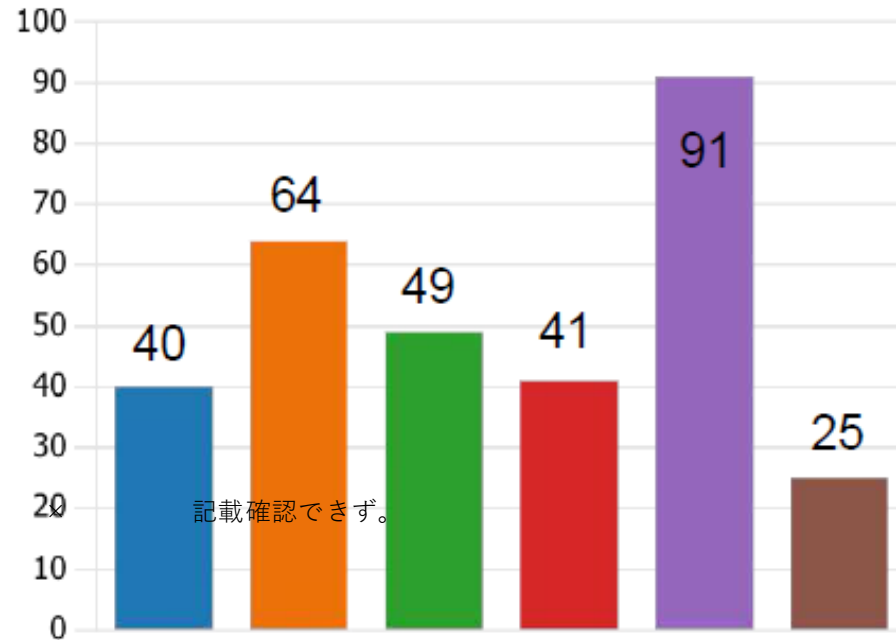
クラブのコンセプトや指導方法、方針を明確にし、指導者へのフィードバックを充実させる。

【流山市地域クラブの目標と方針の明確化】

- 「生徒の自主性・主体性を尊重し、コーチングを中心とした指導」を目標に掲げ、その方針を広く周知していく。

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果「休日の地域クラブに期待すること」(教職員対象)



●参加者の声

- 学区内の生徒で構成されるチームであればぜひ関わっていききたい。
- 学校で部活を行うのであれば、今まで通りサポートしたい。
- 顧問はできませんが、学校部活動の見守り程度はか関わりたい。
- 現在、週29時間雇用であるため部活顧問は持っていませんが、もし、フルタイム勤務であれば、私自身について言えば平日の指導には当たれる

● 平日は学校部活動の顧問として関わる他に、休日は兼職兼業等の制度を活用して、指導者として地域クラブに関わりたい	40(12%)
● 学校部活動の顧問として関わる他に、休日はできる範囲で地域クラブに関わってもよい	64(20%)
● 平日は学校部活動の顧問として関わり、休日は地域クラブ活動にはできれば関わりたくない	49(15%)
● 平日は学校部活動の顧問として関わり、休日は地域クラブ活動には関わりたくない	41(13%)
● 今後、平日の学校部活動や休日の地域クラブ活動には関わりたくない	91(29%)
● その他	25(8%)

【スポーツデータバンク株式会社】

アンケート結果・広報資料

流山市部活動地域移行

外部指導員募集中!

流山市では、一般の方を対象に、部活動の外部指導員を大募集しています。子供たちと共に、一緒に運動や文化活動に励んでくださる方をお待ちしています。

1 募集内容

外部指導員（学校部活動における専門的指導補助）

2 応募資格

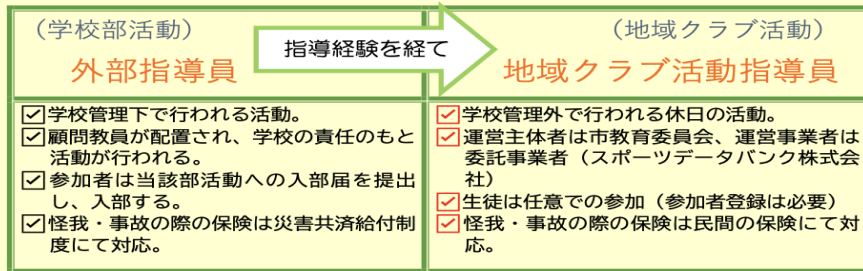
一般の方（大学生以上）

3 業務内容

学校管理下で行われる部活動における、練習及び練習試合等の指導



※【流山市における「学校部活動」と「地域クラブ活動」について】



※流山市としては、**外部指導員の配置から開始し、生徒・保護者からの信頼や、学校での指導実績を踏まえた上で、地域クラブ指導員を配置**します。

4 指導日及び時間

平日または土日祝の1日2時間（学校と相談の上決定します）/年間100時間（予定）

5 活動場所

流山市内の学校及び公共施設

6 活動種目

各中学校の部活動にある種目（令和5年度の部活動例）

陸上	水泳	バスケットボール	サッカー
野球	バレーボール	ソフトテニス	卓球
バドミントン	ソフトボール	柔道	剣道
吹奏楽	美術	書道	茶道
華道	かるた	理科	家庭科
栽培	英語		



7 応募方法

希望される方は、本市と業務委託契約を結んでいるスポーツデータバンク株式会社の指導員として登録をしていただき、研修を受講後、学校のニーズに合わせて指導が可能となります。

詳細及び申込については、下記 QR コードからホームページをご覧ください。

こんな方を求めています!!
 ○子どもたちと関わることが好きで、一緒に活動に取り組める方。
 ○競技経験や指導経験のある方。
 ○将来、教職を目指す大学生!



参考 地域クラブ指導員について

まず外部指導員として指導を開始していただきます。その後、生徒・保護者からの信頼や、学校での指導実績を踏まえた上で、地域クラブ指導員としての配置が決まります。

業務内容 指導監督に加え、大会運営にかかる役員、生徒引率も行います。

- (1) 練習及び練習試合等の計画、指導
- (2) 練習試合、大会、コンクール等、遠征時の引率
- (3) 大会等の申し込み・運営にかかる役員
- (4) 傷害報告/緊急時の対応 など

【市ホームページ記載の募集チラシ】

流山市教育委員会

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

保護者説明会

事業主体者 : 流山市教育委員会
 運営事業者 : スポーツデータバンク株式会社
 モデル校 : 流山市立西初石中学校（※R6は他校からの受け入れなし）
 対象部活動 : ①女子バレーボール部(部員:22名)
 ②男子卓球部(部員:15名)
 指導者 : 専門指導者が担当
 期間 : R6年11月～R7年3月 ※予定
 内容 : 休日の部活動の地域移行(実施曜日は原則、土日祝日)
 活動時間 : 3時間以内/1回(ガイドラインの遵守)
 参加者費用負担: なし



【保護者説明会概要（10月実施）】

【バレーボール・卓球保護者説明会の様子】

資料【スポーツデータバンク株式会社】

開催概要

開催概要	1. 開催日 令和6年6月4日(火)15:00～16:30 2. 会場 キッコーマンアリーナ 3. テーマ「柔道授業における安全な指導方法」 4. 講師 下山 陽邦 氏 (公益財団法人 講道館道場 指導部)
参加者	15名 ※市内中学校教員

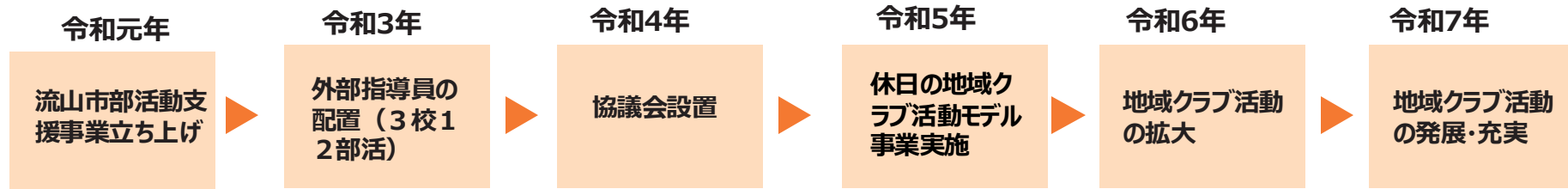


【柔道安全指導講習会概要】

【柔道安全指導講習会の様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

スポーツデータバンク株式会社

●経過

令和元年度より、単年のプロポーザル型公募により委託し、事業推進を図っている。令和4年度より協議会を立ち上げ、先進地域の事例、仕組みについて共有している。

●実施にあたって生じた課題

大会の参加基準・運営方法の見直し、運営の効率化等の検討事項の検討と調査・分析を行うために、コーディネーターのノウハウを活用する必要がある。

●実施内容、工夫した点等

- ・外部指導員の実技指導・研修は令和6年度まで本事業の受託実績を活用した安定的な事業推進を行うと同時に、地域移行を計画的に推進している。
- ・指導者については、前年度からの継続・地域団体との連携・新規登録人材による対応が可能であった。「地域の子どもたちは、地域で育てる」方針のもと、最短スケジュールでの指導・切れ目のない対応で実施した。
- ・さらに、週に1回程度の教育委員会との定例ミーティングを実施することで、進捗状況を確認するとともに、地域移行に係る双方のニーズを確認しあっている。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

年度	地域移行	中学校部活動 地域連携	小学校部活動	部活動ガイドライン
R6	地域クラブモデル事業	外部指導員 [10校40部活動]		●部活動ガイドラインの改定について協議
R7	●中体連協会、連盟主催大会の参加要件、 計5～6クラブ想定 (ハンドボール、バレーボール、卓球、ソフトボール、陸上、吹奏楽等)	●運営方法の整備		
R8	地域完全移行(休日) ●兼職兼業、受益者負担、指導者確保 ●学校区を越えた地域クラブ活動 ●小学生の受入体制整備	R7をもって市内各種大会廃止 (中学校市内大会、小学校陸上、ミニバスケットボール、小中音楽会) 【今後の在り方】活動は学校裁量 吹奏楽：県や地域、独自の発表会 陸上、ミニバス：地域クラブ中心		【流山市部活動ガイドライン改定】 ・土日は原則、活動を行わない ・今後の方向性を明確に示す
R9	平日の地域移行に着手 ●放課後の移動に伴う学校区を越えた地域クラブ活動 ●地域スポーツ・文化芸術活動など選択の幅を増やす			【流山市部活動ガイドライン改定】 ・平日の活動方針